

目次

1. Product overview	P10
1-1. 表面操作パネル	P10
1-2. 背面パネル	P10
2. 準備	P13
2-1. 内容物の確認	P13
2-2. リモコンの電池交換の方法	P13
2-3. X40 ストレージの格納方法	P14
2-3-1. HDD フォーマット	P14
2-4. X40 purchased with an internal storage installed	P14
3. 接続	P14
3-1. 電源の接続	P14
3-2. 外部機器の接続	P14
4. 初期セットアップ	P15
4-1. Wizard Setup (セットアップアシスタント)	P15
4-2. 電源の入れ方	P15
5. セットアップ	P16
5-1. Music DB	P17
5-1-1. Display Mode	P17
5-1-2. Album View	P18
5-1-3. トラック番号	P18
5-1-4. Music DB のストレージ	P19
5-1-5. リカバリー	P19
5-1-5-1. Music DB のリカバリー方法	P19
5-1-5-2. Music DB リカバリーの結果確認	P20
5-1-5-3. リカバリーフォルダーの作成について	P20
5-1-5-4. リカバリーフォルダーから Music DB フォルダーへの移動	P20
5-1-6. 復元	P22

5-2. CD Ripping の設定	P22
5-2-1. Bit Rate と Quality の設定	P22
5-2-2. Audio Format (リッピングフォーマットの変更)	P23
5-2-3. Free DB Text Code	P23
5-2-4. Free DB date インストール	P24
5-2-5. Free DB アップデート	P24
5-3. Audio	P24
5-3-1. Player View	P25
5-3-2. DRC (Dynamic Range Compression) モード	P25
5-3-3. Analog out Volume	P25
5-3-4. Digital out Volume	P26
5-3-5. Digital Out	P26
5-3-6. Analog Out	P26
5-3-7. Recording Sample Rate	P26
5-3-8. ギャップレス再生	P27
5-3-9. Slide Show Effect	P27
5-3-10. Slide Show Time	P27
5-4. Network	P28
5-4-1. 有線接続設定	P28
5-4-1-1. DHCP (IP の自動取得設定)	P28
5-4-1-2. 固定 IP 設定	P28
5-4-2. ネットワーク情報の確認	P29
5-5. Network Service	P29
5-5-1. Samba Server	P29
5-5-2. Network Sharing (Samba Client)	P29
5-5-3. Web Server	P30
5-5-3-1. Web Server の構築方法	P32
5-5-3-2. Web インターフェイスの起動方法	P33
5-5-4. UPnP Server	P35
5-5-5. FTP Server	P35

5-6. Internet Service	P36
5-6-1. Simfy	P36
5-6-2. Qobuz	P36
5-7. System	P36
5-7-1. OSD (ディスプレイ表示言語) Language	P37
5-7-2. Auto Play	P37
5-7-3. Resume Play	P37
5-7-4. Factory Reset	P37
5-7-5. HDD Sleep	P38
5-7-6. Storage format	P38
5-7-6-1. 未フォーマットのHDD (パーティションしていないストレージ)	P39
5-7-6-2. すでに使用されているストレージの設定	P39
5-7-7. ストレージシステムの確認動作	P40
5-7-8. 画面の明るさ設定	P40
5-7-9. Alarm 機能	P40
5-7-10. Auto Shutdown	P41
5-7-11. Scroll Speed	P42
5-7-12. List Line Count	P42
5-8. 時計設定	P43
5-8-1. 時計表示	P43
5-8-2. 時計設定 (インターネット)	P43
5-8-3. 時計設定(マニュアル)	P44
5-9. ファームウェア	P44
5-9-1. 現在のファームウェア	P44
5-9-2. マニュアルファームウェアアップデート	P45
5-9-3. 自動アップデート (ネットワーク経由のファームウェア自動アップデート)	P45
5-9-4. ファームウェアアップデートの自動化について	P46
5-9-5. ファームウェアの確認	P46

6. Music DB	P47
6-1. X40 の Music DB について	P47
6-2. Free DB とは	P47
6-3. Gracenote について	P47
7. CD Loading (Ripping)	P48
7-1. CD リッピングの方法	P48
7-1-1. Ripping All	P48
7-1-2. トラックごとのリッピング	P50
7-2. X40 がネットワーク(インターネット)に接続されていない場合 の Ripping	P50
7-2-1. Ripping All(オフラインの時)	P51
7-2-2. Ripping Tracks	P52
7-3. Free DB が X40 ストレージの上にインストールされるならば	P52
7-4. CD リッピング変換後のステータスの確認	P52
8 Music DB の使い方	P53
8-1. Music DB からの再生	P53
8-2. 検索機能	P55
8-3. Music DB の管理と編集	P56
8-3-1. Music DB の音楽データの削除と Rename	P56
8-3-2. Music DB に収録されている音楽フォルダーを外部のストレージに エクスポートする方法	P57
8-3-3. History 機能	P58
8-3-4. ‘セクション再生’ 機能の設定	P58

9. Music DB 内の TAG 情報を編集する	P59
10. CD のダイレクト再生	P59
10-1. X40 がネットワークに接続されている場合 (インターネット)	P58
10-2. X40 がオフラインで動作している場合	P60
10-3. X40 がオフライン環境にあるが Free DB をインストールしている	P60
11. Playlist	P61
11-1. Playlist	P61
11-1-1. Playlist の作成方法	P61
11-1-2. Playlist List に曲を追加する	P63
11-1-3. Playlist 再生の方法	P63
11-1-4. Playlist 内の曲順を変更したい場合	P64
11-1-5. Playlist の編集	P64
11-2. My Playlist (Virtual Playlist)	P65
11-3. Advanced My Playlist (Virtual Playlist)	P65
12. Music Streaming 機能	P66
12-1. UPnP Server/Client , Samba Server/Client 機能	P66
12-2. 同一ネットワーク上に複数の X40 が存在する場合	P66
12-3. Sonos. を利用すると X40 は音楽サーバーとしても機能します	P67
12-4. Share play 機能	P67
13. i-Service	P68
13-1. Internet Radio	P68
13-1-1. Internet Radio. の使い方	P68
13-1-2. お気に入りのステーションを My Favorites. に追加する	P69
13-1-3. My Favorites 画面への移動方法	P69
13-1-4. Internet Radio ステーションの検索方法	P69
13-1-5. Internet Radio の録音フォーマット	P69
13-1-5-1. i-RADIO の録音の方法	P70
13-1-5-2. 録音したファイルの収納先	P70
13-1-5-3. 録音したファイル名について	P71
13-1-5-4. 録音したファイルのデータ編集	P72

13-1-6.. 録音予約機能	P73
13-1-6-1. 録音予約の仕方	P73
13-1-6-2..X40 の録音予約設定後、スタンバイモードになっている場合 (例えば 4:00PM / record for 3M に設定した場合)	P73
13-2. Online Music Service (Simfy)	P74
13-3. Online Music Service (Qobuz)	P74
14. FM Radio	P75
14-1. FM Radio の設定方法	P75
14-2. FM ラジオ録音	P76
15. USB ポート	P76
16. Browser	P77
16-1 ファイルマネージメント機能	P77
16-1-1. HDD、USB、フォルダーまたはファイルの状況確認	P77
16-1-2. TAG Edit	P78
16-1-3. Music DB へのインポート	P79
16-1-4. ファイルのコピー	P79
16-1-5. Files の Move	P80
16-1-6. ファイルの削除	P80
16-1-7. Internet radio stations 再生のための PLS ・M3U ファイル	P80
16-1-8. Audio file format conversion	P81
16-1-9. Cut the recorded file (Cut ‘Playing Section’)	P81
17. Input	P82
17-1. 接続されている外部機器の使用方法	P82
17-2. 録音の方法	P83
17-3. 録音されたデータの保管場所	P84
17-4. 録音ファイルデータの編集	P85
17-5. 別のフォーマット (MP3, FLAC, Ogg) に変換する方法と そのファイルを Music DB やストレージに移動させる方法	P85

18. 特殊機能	P86
18-1. 左右ボリューム調整の方法	P86
18-2. HDMI 映像出力の方法	P87
18-3. Photo Slide Show	P87
18-4. 様々な項目ごとのリストアップ表示	P88
18-5. LYRICS 機能	P88
18-6. BOOKMARK	P89
18-7. Resume Play	P89
18-8. 時計表示機能 および ディスプレイ (LCD) OFF	P90
18-9. 再生モードの変更	P90
18-10. アラームセットの方法	P91
18-11. Auto Shutdown	P92
18-12. Sleep mode	P92
18-13. Auto Play	P93
18-14. ショートカット検索	P93
18-15. Play 画面中の検索機能	P94
仕様	P95
トラブルシューティング	P97

安全にお使い頂くために

製品を安全にお使い頂くために、本製品の操作ならびに他社製品との接続を試みる前に、必ず下記事項を慎重にお読みになり、操作して下さい。

1. 本マニュアルをお読み下さい。
2. 本マニュアルを大切に保管して下さい。
3. 記載された警告事項にすべてご注意下さい。
4. 操作はこのマニュアル通りに行ってください。
5. 本製品を水の近く、ないしは湿度の高いところで、使用しないで下さい。
6. 本体のクリーニングは、乾燥した柔らかい布で行ってください。
7. 換気孔の近くは十分なスペースを取ってください。また通気口自体も通気出来ているか確認して下さい。設置場所も、本書に即した場所に設置して下さい。
8. この製品のシャーシを許可なく開封しないで下さい。
(保証が失われる恐れがございます)
9. 屋外で本製品を使用しないで下さい。
また、本製品を水、雨、または高い湿度にさらさないようにして下さい。
10. 直射日光や炎からこの製品を遠ざけて下さい。
また、熱のこもらない環境に設置して下さい。
11. ラジエーター、熱レジスター、ストーブ、等の熱を発生させる電気装置の近くで本製品を使用しないで下さい。
12. 製品の上に物を置かないで下さい。
13. 危険なものと思われるものを製品に近づけないで下さい。
(例えば、液体、燃焼ろうそく、ガソリン、灯油、等)
14. この製品は電池を含みます。
電池の処分に関しまして安全で適切な処分方法を利用し、処分して下さい。
15. 雷雨の場合や長い間未使用の場合は、適切な方法で電源を切り、電源ケーブルを抜いて下さい。
16. 修理に関しましては、必ず弊社、もしくはご購入された販売店にご相談下さい。
梱包材やパッケージ等は必ず保管して下さい。
製品修理の際や移動の際に必ず必要となります。
(オリジナルの梱包材で移動されない場合、保証が失われる場合がございます)

注意

- イヤフォン・ヘッドフォンのご使用について

イヤフォン・ヘッドフォンを使用するにあたり、難聴にならないようご注意ください。

大きな音は勿論、長時間聴き続けるのも聴力の感覚細胞が傷つけられ、難聴の原因となります。そのため、就寝時に使用するときは注意が必要です。

また、イヤフォン・ヘッドフォンで音を聞くのは、スピーカーで聞くのと比べて周波数が高く、耳に負担をかけてしまいます。どちらにしても使い過ぎは良くありません。

ボリュームもできるだけ下げてください。

- 他機器との接続について

X40と他の機器を接続する場合、全ての機器(X40も含む)の電源が切られていることを確認して下さい。ノイズ発生や機器の故障の原因となります。

FCC regulations

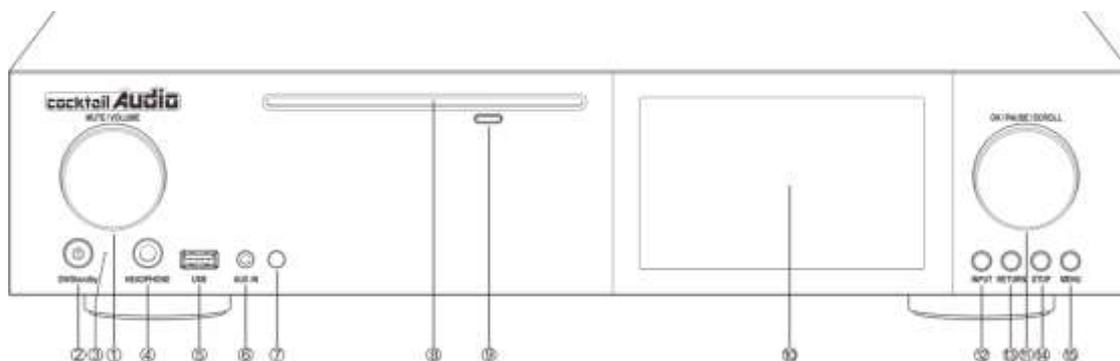
NOTE: THE MANUFACTURER IS NOT RESPONSIBLE FOR ANY RADIO OR TV INTERFERENCE CAUSED BY UNAUTHORIZED MODIFICATIONS TO THIS EQUIPMENT. SUCH MODIFICATIONS COULD VOID THE USER AUTHORITY TO OPERATE THE EQUIPMENT.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Re-orient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help

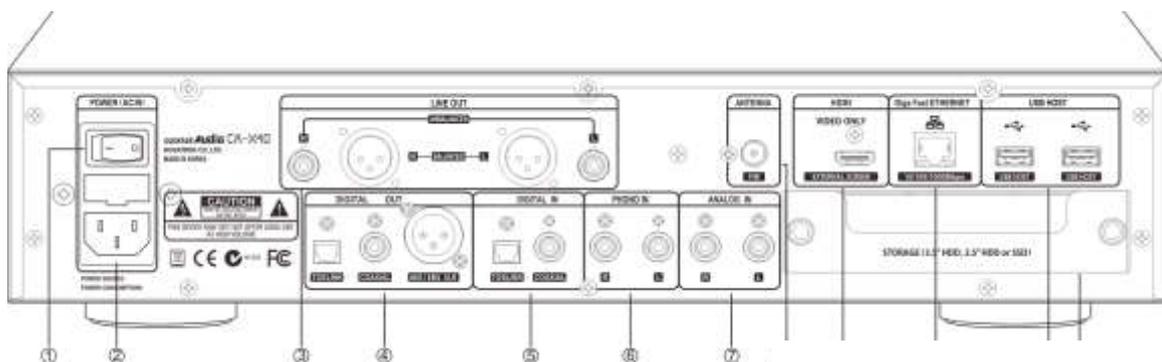
1. Product overview

1-1. 表面操作パネル



- | | |
|-----------------|----------------|
| ① ミュート/ボリュームノブ | ⑧ CD スロットル |
| ② パワースタンドバイボタン | ⑨ CD イジェクトボタン |
| ③ パワースタンドバイ LED | ⑩ LCD スクリーン |
| ④ ヘッドフォン端子 | ⑪ 決定/ポーズ/スクロール |
| ⑤ USB ポート | ⑫ インプットボタン |
| ⑥ AUX 入力 | ⑬ リターンボタン |
| ⑦ リモコン受光部 | ⑭ ストップボタン |
| | ⑮ メニューボタン |

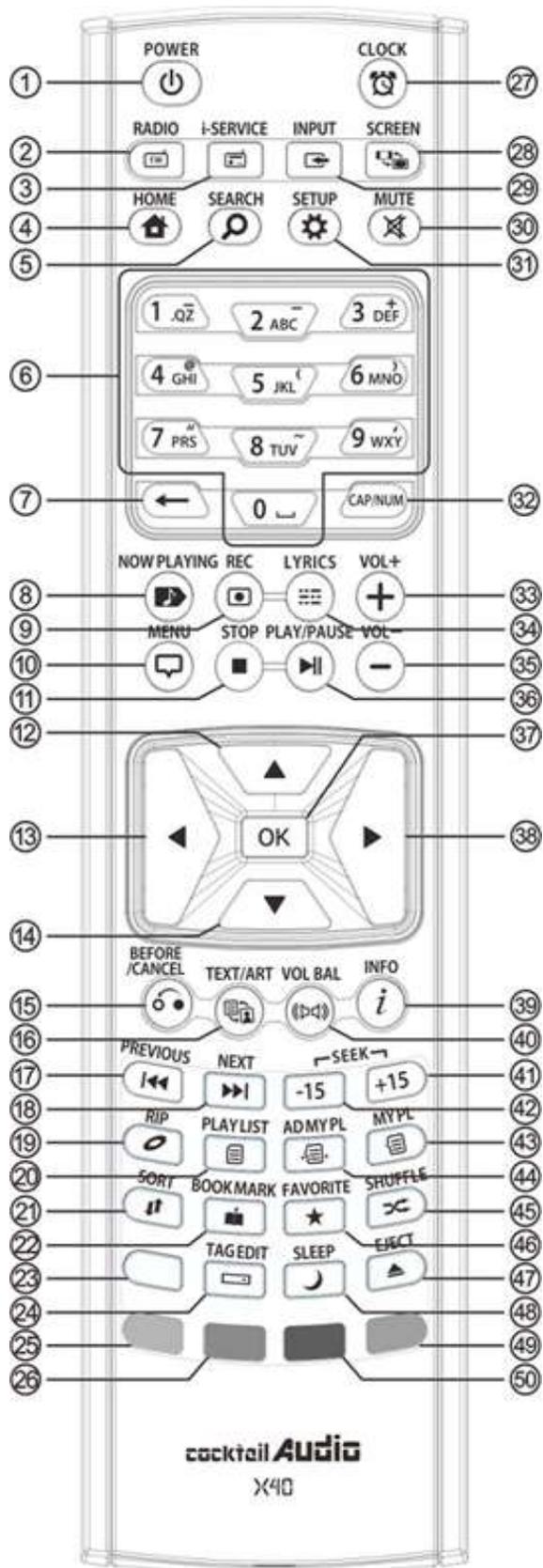
1-2. 背面パネル



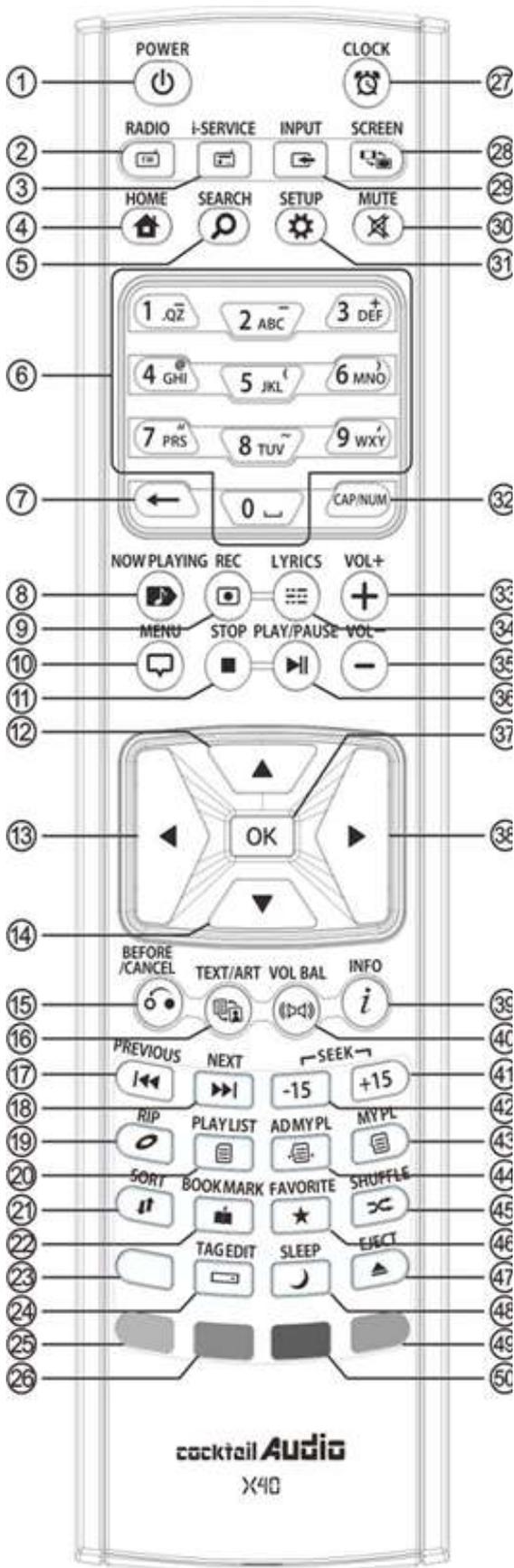
- | | |
|---|---------------|
| ① 電源スイッチ | ⑦ アナログ入力(RCA) |
| ② 電源端子(ヒューズボックス付き) | ⑧ FMアンテナ端子 |
| ③ アナログ出力(RCA/XLR) | ⑨ HDMI出力 |
| ④ デジタル出力(Toslink, Coaxial, AES/EBU XLR) | (映像出力のみ) |
| ⑤ デジタル入力(Toslink, Coaxial) | ⑩ LAN端子 |
| ⑥ フォノ入力(RCA/MM 入力) | ⑪ USB端子 |

※ NOTE

1. アナログ出力は、必ずRCAないしは、XLRどちらかのみ接続し、両方同時に接続しないで下さい。故障の原因となります。
2. デジタル出力、デジタル入力も同様に、必ずどれか一つに接続し、複数接続を避けてご利用下さい。故障の原因となります。



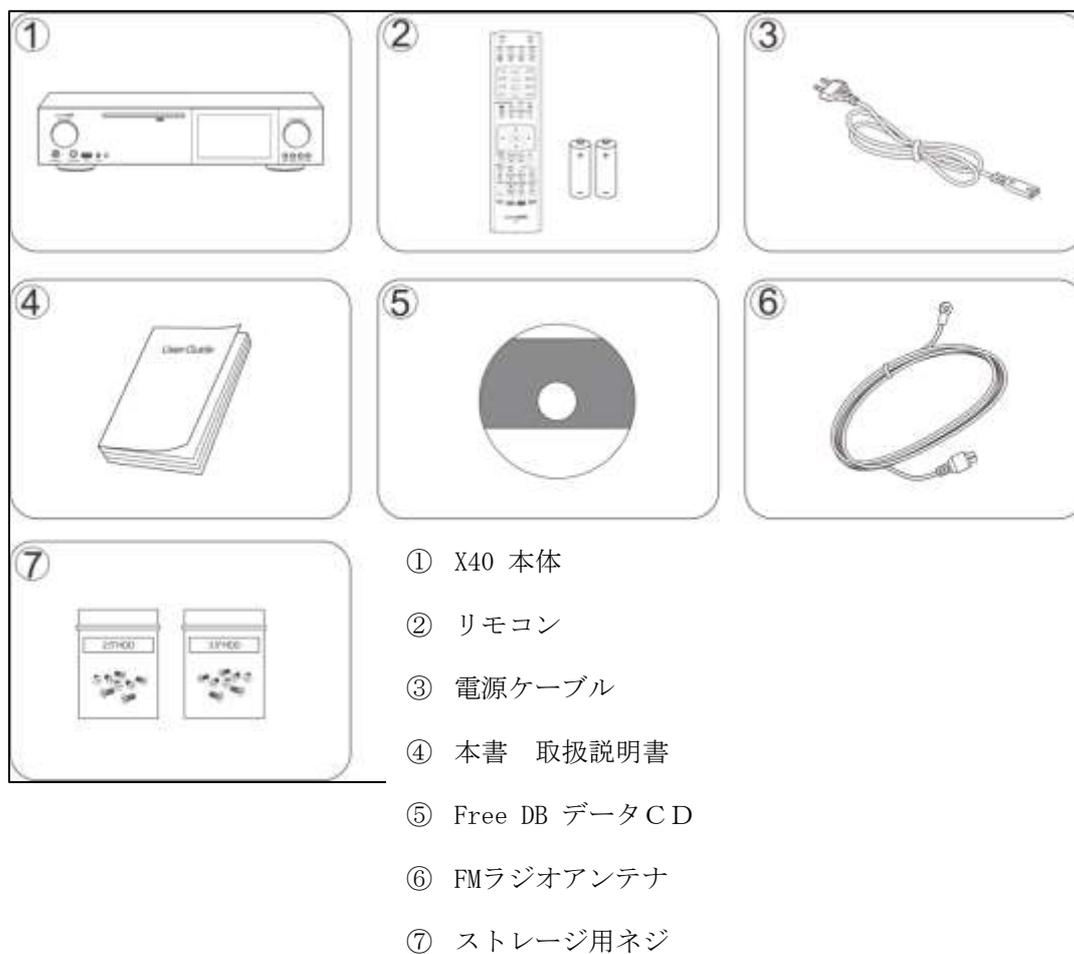
1. POWER: 電源 ON/OFF
2. RADIO: FM ラジオ画面に移行します
3. i-SERVICE: i-Service 画面に移行します
4. HOME: ホーム画面に移行します
5. SEARCH: ポップアップサーチメニュー
6. 数字/文字キー
7. ←: 文字や数字を削除します。
8. NOW PLAYING: 現在再生中の曲画面を表示します
9. REC: 録音します
10. MENU: ポップメニュー画面の表示
11. STOP: 曲を停止させます
12. カーソルを上移動させます
13. カーソルを左移動させます
14. カーソルを下移動させます。
15. BEFORE/CANCEL: ひとつ前の画面に戻ります
16. TEXT/ART: テキストとアートモードを
ボタンを押すごとに変更します
17. PREVIOUS: 曲を戻します
18. NEXT: 曲を送ります
19. RIP: リッピングメニューに遷移します
20. PLAYLIST: プレイリストスクリーン画面に
遷移します
21. SORT: ファイルリストをソートします
22. BOOK MARK: ブックマークを作成します
23. 使用しません
24. TAG EDIT: タグ画面へ遷移します
25. RED Color key: ボリュームバランス画面の表示



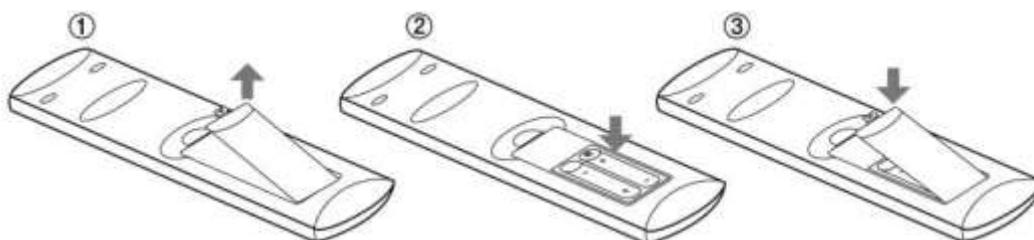
- 26. GREEN color key: Reserved
- 27. CLOCK: 時計を表示させます
/スクリーンを無表示にさせます
- 28. SCREEN: 外部スクリーンとの切り替えに
使用します。
- 29. INPUT: 入力切替画面に遷移します。
- 30. MUTE: ミュート/ミュート解除をします
- 31. SETUP: セットアップメニューへ移行します
- 32. CAP/NUM: 数字キー/アルファベットキー等
切り替えをします
- 33. VOL+ : ボリュームアップをします
- 34. LYRICS: LYRICS を画面に表示させます
- 35. VOL- : ボリュームをダウンします
- 36. PLAY/PAUSE: 再生/一時停止
- 37. OK: 決定します
- 38. カーソルを右移動させます
- 39. INFO: 音楽データの情報を表示させます。
- 40. VOL BAL: ボリュームバランスをコントロール
させます
- 41. SEEK/+15: 15秒早送りします
- 42. SEEK/-15: 15秒巻き戻しをします
- 43. MY PL: プレイリストを作成します
- 44. AD MY PL: アドバンスプレイリストを
作成します
- 45. SHUFFLE: プレイモードを変更します
- 46. FAVORITE: i-Radio のお気に入りリスト/
お気に入りリストを交互に表示させます
- 47. EJECT: CDを取り出します
- 48. SLEEP: スリープモードに移行します
- 49. BLUE key: 使用しません
- 50. YELLOW key: 使用しません

2. 準備

2-1. 内容物の確認



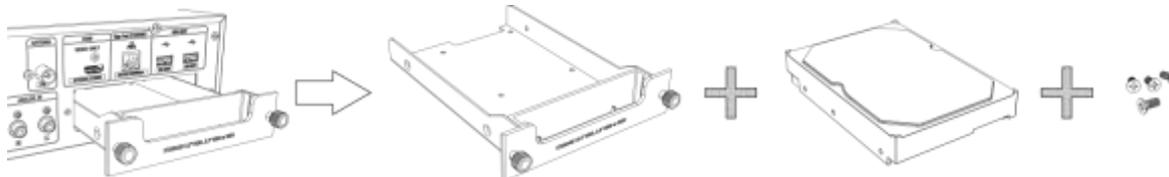
2-2. リモコンの電池交換の方法



2-3. X40 ストレージの搭載方法

3.5 または 2.5 インチ SATA HDD または SSD をご用意頂き、下記の図のように搭載して下さい。

X40 のストレージフォーマットについては、5-7-6 ストレージフォーマットをご参照下さい。



【 TIP 1 】 X40 は 3.5 または 2.5 インチ SATA HDD または SSD に対応しています。

2-3-1. HDD フォーマット

※ 5-7-6 ストレージフォーマット (P. 39) をご参照下さい。

2-4. X40 purchased with an internal storage installed.

搭載されたストレージがフォーマットされているかどうかを確認して下さい。

もしストレージがフォーマットされていない場合 5-7-6 に従って、フォーマットを行って下さい。

詳細は 5-7-6 ストレージフォーマット (P. 39) を参照下さい。

3. 接続

3-1. 電源の接続

X40 と電源ケーブルの接続をしっかりと行い、確認してからリアパネルの電源スイッチを入れて下さい。

3-2. 外部機器の接続

P7 の背面パネル図を参照し目的に合わせて外部機器を接続して下さい。

- ・ デジタル出力 (Toslink, Coaxial, AES/EBU XLR): 外部 DAC 等
- ・ アナログ出力 (Balanced / Unbalanced): アンプ等
- ・ フォノに入力 (MM 入力): レコードプレーヤー
- ・ FM ラジオコネクター: FM ラジオアンテナ
- ・ USB 端子: USB キーボードや USB メモリー等,
- ・ HDMI 出力: TV やプロジェクター等

※ NOTE

- 1; アナログ出力は必ずRCAないしXLRのどちらかのみを接続し両方接続しないで下さい。故障の原因となります。
- 2; デジタル出力, デジタル入力も同様に必ずどれか一つに接続し複数接続を避け、ご利用下さい。故障の原因となります。

4. 初期セットアップ

4-1. Wizard Setup (セットアップアシスタント)

ストレージを搭載し本体の背面の電源スイッチを入れ、前面の電源ボタンまたはリモコンのPowerボタンを押下しX40を起動させると、以下の図のようなセットアップアシスタントが起動します。



【 TIP ① 】 搭載されたストレージがフォーマットされていない場合にのみ、この機能は起動します。

4-2. 電源の入れ方

まず背面の主電源スイッチを入れて下さい。

スイッチを入れると正常に動作している場合、前面のパワースタンバイ LED が緑色に点灯し、スタンバイモードに移行します。

前面の電源ボタンまたはリモコンの Power ボタンを押下するとパワースタンバイ LED が青色に変わり、スタンバイモードから動作モードに移行し、本体が起動し始めます。

※ X40 は本体起動中に、様々なチェックを行います。

※ X40 が完全に動作モードに移行するのに、数分かかることがあります。

X40が動作モードに移行した場合、次のような画面がLCD画面に表示される。

1) ブートイメージ



2) 準備完了イメージ



Music DB : X40 でリッピングした CD データはここに収納されます。

Browser : 外部ストレージの接続状態を確認と再生を行います。

Play list : 作成したプレイリストはここに収納されます。

Input : 入力の切り替えを行います。

i-Service : ミュージックサービスや i-ragio はここから選択します。

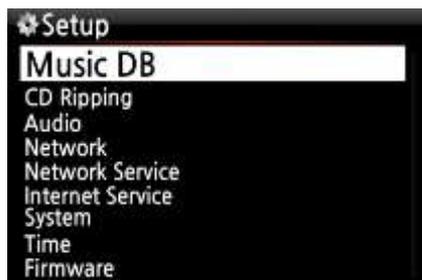
Setup : 設定変更を行います。

FM Radio : FM ラジオの再生はこちらから行えます。

CD Play/Rip : CD リッピングと CD 直接再生ができます。

5. セットアップ

リモコンでセットアップ画面を選択し、OK ボタンを押して下さい。



矢印キーで個々の設定を選択し、OK ボタンを押すことで各設定画面に遷移します。

5-1. Music DB



1. Setup→Music DB の順に選択し OK ボタンを押して下さい。
2. Music DB 画面に移動して下さい。
3. Display Mode を選択し OK ボタンを押して下さい。

5-1-1. Display Mode

Display ModeではMusicDB 内のリストの表記方法を設定することができます。

下記に選択できる項目と選択した時の結果を記載してあります。

(※ デフォルトはアルバムを表示する設定になっています)



選択項目	選択結果
Artist/Track	アーティストリスト→トラックリスト
Artist/Album	アーティストリスト→アルバムリスト→アルバムトラックリスト
Genre/Track	ジャンルリスト→ ジャンルのトラックリスト
Genre/Album	ジャンルリスト→アルバムリスト→アルバムトラックリスト
Album	アルバムリスト→アルバムトラックリスト
Composer/Track	作曲家リスト→作曲家トラックリスト
Composer/Album	作曲家リスト→作曲家アルバムリスト
Title	トラックリスト

5-1-2. Album View

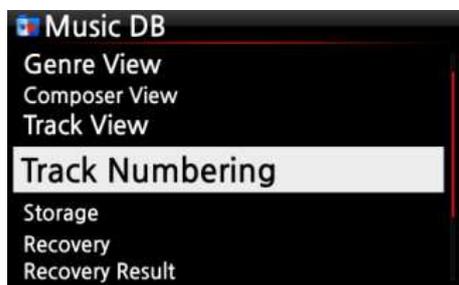
Album View 設定では、Music DB 内のアルバム表示方法の選択が行えます。

(デフォルトは Text mode です)



※ Artist view, Genre view, Composer view, Track viewでも同様に設定が可能です。

5-1-3.トラック番号



この機能はリッピングした CD に対してトラックナンバーを付加するかどうかの設定を行います。

(※デフォルトは Enabled)

5-1-4. Music DB のストレージ

Music DBのストレージ先の選択が可能です。

USBかInternal HDDのどちらかに設定することが可能です。

(※デフォルトは Internal HDD(SSD))



[確認]

#Note:もし MusicDB 操作中に “Query Error” が発生した場合は、まずこの部分の設定を確認して下さい。

#Storage の設定で USB 接続の HDD (SSD も含む) を選択する場合、USB 接続の HDD (SSD も含む) の電源は必ずオリジナルのものをご使用ください。故障の原因となります。

5-1-5. リカバリー

Music DB の動作中にエラーが発生したり、Storage 再生の際にトラブルが発生したりした場合、以下の手順でリカバリーをお試し下さい。

5-1-5-1. Music DB のリカバリー方法

- ① Setup 画面から Music DB を選択して Music DB 画面に移動して下さい。
- ② Recovery を選択してリモコンの OK ボタンを押して下さい。



※ Music DBの容量によって3にかかる時間が変わることがあります。

5-1-5-2. Music DB リカバリーの結果確認

以下の手順でリカバリー結果の確認をすることができます。



セットアップ画面から Music DB→Recovery Result 順に選択し、OK ボタンを押して決定して下さい。



Music DB のリカバリーが成功していると、左のような画面が表示されます。



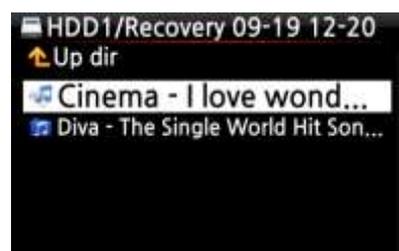
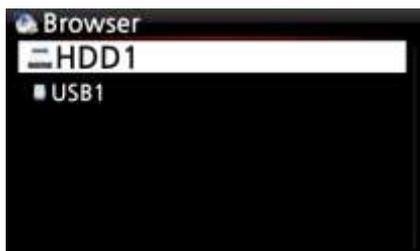
もし問題があったり、疑わしい箇所があったりすると、左のように表示されます。

- ※ 'Moved は Recovery フォルダーに移動されたことを意味します。
- ※ 'song file' は実際のファイルの意味
- ※ 'Deleted は Music DB の情報が削除されたことを意味します。
- ※ 'Album' , 'genre' , 'artist' , song' は情報のテキストデータのみであり、音楽データはないことを意味します。

5-1-5-3 リカバリーフォルダーの作成について

X40は、MusicDBの起動後に自動で『Recovery MM-DD hh-mm』フォルダーを作成します。

チェックされたデータは、自動で全てそのフォルダーに移動されます



5-1-5-4. リカバリーフォルダーから Music DBフォルダーへの移動

上記リカバリーフォルダーからチェックが済んだものを、以下の手順でもう一度 Music DBフォルダーへ移動させることができます。



1. カーソルを” Recovery Result” に合わせて下さい。
2. RIGHTキーを押して削除したいデータを決定して下さい。
3. MENUキーを押して下さい。
4. Clear SelectedとClear Allを選択できます。



X40はMusic DBのデータをUSBストレージにバックアップすることができます。
※Music DBのデータ量より大きい容量の USBストレージが必要です。

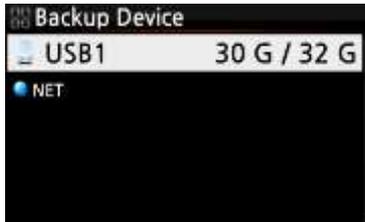
- ① X40のUSBポートに、USB外部ストレージ を接続して下さい。
- ② セットアップの Music DB →Restoreを選択し、OKボタンを押して下さい。
- ③ バックアップデバイスが表示されますので、バックアップデバイスを選択し、Okボタンを押して下さい。ストレージの容量が表示されるため、確認してokボタンを押下し、バックアップを開始して下さい。



5-1-6. 復元

X40は下記の手順でMusic DBデータの復元作業を行うことができます。

- ① バックアップしたUSBストレージをX40のUSBポートに接続して下さい。
- ② セットアップ→MusicDB→Restoreを選択しOKボタンを押して下さい。
- ③ バックアップデバイスが表示されます。バックアップデバイスを選択しOKボタンを押して下さい。
復元が開始されます。



5-2. CD Rippingの設定

ここではCD Rippingの各種設定を行います。

セットアップ→CD Ripping の順に選択することでCD Rippingメニューに移行します。



5-2-1. Bit Rate と Quality の設定

ここでは、CD Rippingの際のBit Rate と Quality の設定を選択することができます。

- Bit Rate : 128K / 192K / 320K (デフォルト値は, 192K)
- Quality level : Excellent / Best / Good / Fast / Very fast (デフォルト値は, Very fast)

OKボタンで上記の設定のうち1つを選択し決定して下さい。

【 TIP ① 】 CD を MP3 にファイル化する際に各設定を選択した際の目安時間は下記の通りです。

選択できる quality level	通常再生時間	MP3 に変換するのにかかる時間 (凡そ)
Excellent	通常再生時間	X 1.5 (150%)
Best		X 1.08 (108%)
Good		X 1 (100%)
Fast		X 3/4 (75%)
Very fast[Default]		X 1/3 (33.3%)

【 TIP ② 】ストレージ容量とリッピング条件(概要)

下記はストレージ容量とリッピング条件の変化におけるCDリッピング枚数の大まかな上限値です。

CD Ripping option	500G	1TB	2TB	4TB	
WAV	CD650 枚	CD1300 枚	CD2600 枚	CD5200 枚	
MP3 /ogg	Compressed Rate				
	128K	CD7500 枚	CD15000 枚	CD30000 枚	CD60000 枚
	192k	CD5000 枚	CD10000 枚	CD20000 枚	CD40000 枚
	320k	CD3000 枚	CD6000 枚	CD12000 枚	CD24000 枚

5-2-2. Audio Format (リッピングフォーマットの変更)

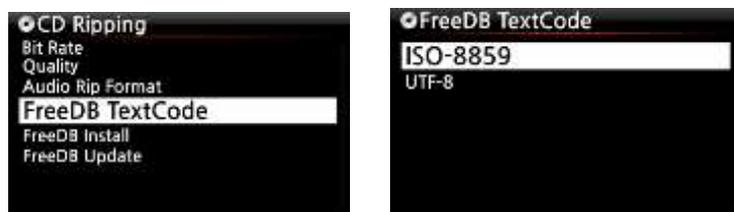
ここではCD Ripping時のフォーマットを何に設定するかを決定します。



※デフォルト値はWAVです。

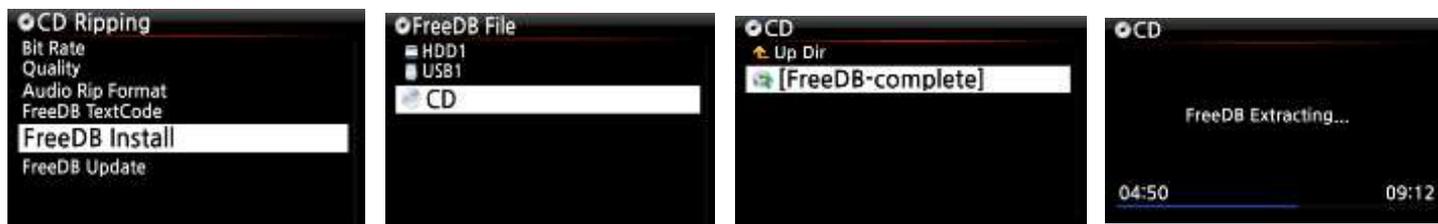
5-2-3. FreeDB TextCode

FreeDB TextCode を変更することが可能です。



5-2-4. FreeDB date インストール

X40は付属のFreeDB data CDをインストールすることでCD Rippingの際にインターネットに接続していなくても、ある程度のCD情報(アルバム情報, 作曲家情報, 等々)を自動で取得することが可能となります。



FreeDB dateCD を X40 の CD スロットに挿入して下さい。

Setup→CD Ripping→FreeDB Install→CDの順に選択して下さい。

[Free DB-Complete]を選択しOKボタンを押してインストールを開始して下さい。

インストールが正常に開始されると X40 は自動で再起動します。

5-2-5. FreeDB アップデート

Cocktail Audio のウェブサイト (www.cocktailaudio.com) から Free DB のアップデートデータを取得することができます。

X40 の free DB をアップデートするには www.cocktailaudio.com からダウンロードした free DB のファイルを USB のメモリースティックに入れ、X40 の USB ポートにメモリースティックを挿入します。セットアップに移動して、free DB update を選択し OK ボタンを押します。

USB メモリーを参照し、free DB へのアップデートファイルを検索し、OK ボタン押してアップデートを開始して下さい。

5-3. Audio

ここでは様々なオーディオに関する設定が変更可能です。

Setup→Audio を選択し Ok ボタンを押すことで Audio メニューに移行します。



5-3-1. Player View

ここでは音楽再生画面の表示方法を次の中から選択することができます。

Cover & List, Music Info, List Only



※ NOTE : リモコンの info ボタンでも常時変更が可能です。

※デフォルト値は Cover & List,です。

[Cover & List]



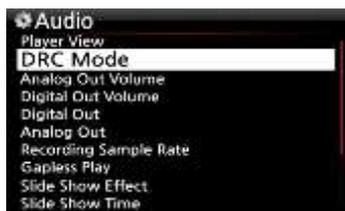
[Music info]



[List Only]

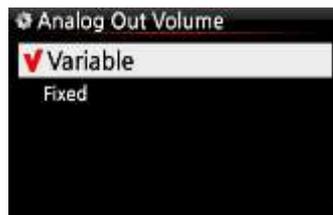


5-3-2. DRC (Dynamic Range Compression) モード



※デフォルト値は ON

5-3-3. Analog out Volume

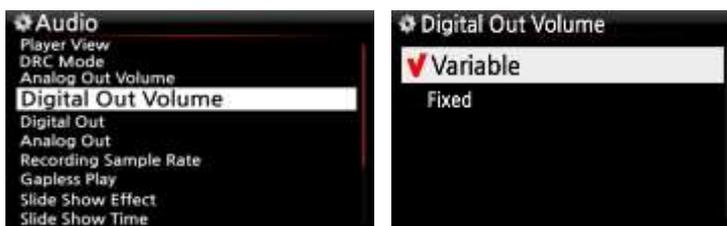


※デフォルト値は可変

※可変: X40 のアナログ出力のボリューム機能を有効にします。

※固定: X40 のアナログ出力のボリューム機能を最大出力のまま固定します。
(ボリューム機能は使えません)

5-3-4. Digital out Volume



※デフォルト値は可変

※可変: X40 のデジタル出力のボリューム機能を有効にします。

※固定: X40 のデジタル出力のボリューム機能を最大出力のまま固定します。
(ボリューム機能は使えません)

5-3-5. Digital Out

ここではデジタル出力の出力設定を次の 5 種類から設定することができます。



※ デフォルト値は 96KHz

- ① OFF : 出力を停止します
- ② Pass-through : オリジナルの解像度のまま出力させます
- ③ 48KHz : Max 48KHz の周波数で出力をします
- ④ 96KHz : Max 96KHz の周波数で出力をします
- ⑤ 192KHz : Max 192KHz の周波数で出力をします

5-3-6. Analog Out

ここではアナログ出力の出力設定を設定することができます。



※ デフォルト値は ON

5-3-7. Recording Sample Rate



ここでは録音時のサンプルレートの設定を次の 3 つから選択し、設定することができます。
48KHz, 96KHz, 192KHz.

※NOTE: サンプルレートの値が高い程ストレージの容量を必要とします。

5-3-8. ギャップレス再生

X40 は MP3, WAV, FLAC のファイルに限りギャップレス再生に対応しています。



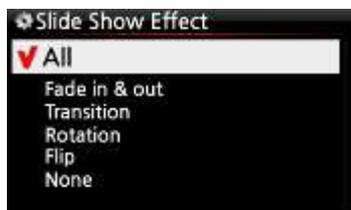
※ デフォルト値は On

【 TIP 】

LAMEエンコードはMP3ファイルのみ対応しています。

ギャップレス再生はシャッフル再生には対応していないためシャッフル再生が選ばれているとギャップレス再生は行われません。

5-3-9. Slide Show Effect



ここではスライドショーの再生設定を行います。

設定は次の 6 つから選択可能です。

- ① All,
- ② Fade in & out,
- ③ Transition,
- ④ Rotation,
- ⑤ Flip
- ⑥ None.

※ 設定の詳細は

19-3Photo Slide Show (P77) を
ご確認ください

5-3-10. Slide Show Time



ここではスライドショーの細かな表示時間の設定が行えます。

- Show time:画像一枚当たりの表示時間の設定
- Effect time:画像が切り替わる間の時間の設定

※ 設定の詳細は 19-3Photo Slide Show (P77) をご確認ください

5-4. Network

※LAN ケーブルを接続してネットワーク環境を構築した上で、次の設定を行って下さい。

①Setup→Network を選択し Ok ボタンを押して Network 接続メニューに移行して下さい。

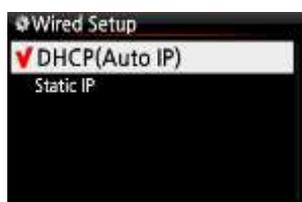


②Network設定→有線接続設定を選択しOkボタンを押して下さい。

【 TIP 】 ネットワーク情報をチェックするためには、Network info を選択して ok ボタンを押して下さい

5-4-1. 有線接続設定

5-4-1-1. DHCP (IP の自動取得設定)



- ① DHCP (IP の自動取得設定)を選択し ok ボタンを押して DHCP メニュー画面へ移行して下さい。
- ② Ok アイコンを選択し ok ボタンを押して下さい。
- ③ X40 は自動で必要なデータを取得してくれます。
- ④ データが登録されたのを確認して Ok アイコンを選択し Ok ボタンを押して下さい。



⑤ 正常にデータを取得すると左の画面のように表示されます。

5-4-1-2. 固定 IP 設定



- ① 固定 IP の設定を選択し Ok ボタンを押して下さい。
- ② 必要なデータを入力して下さい。
- ③ Ok を選択し Ok ボタンを押して下さい。



④ 正常にデータを取得すると左の画面のように表示されます。

5-4-2 ネットワーク情報の確認



Network Info を選択し Ok ボタンを押すと
左のように現在のネットワーク情報を確認できます。

5-5. Network Service



Network Service を選択し Ok ボタンを押して
Network Service メニューに移行して下さい。

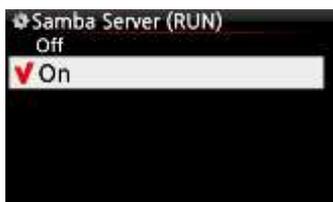
5-5-1 Samba Server

Samba Server の設定は以下の通りに行います。

(ネットワーク上から X40 の内部ストレージを確認する場合はこの設定が必要です)

(出荷時はこの設定を行っております)

- ① Setup→Network→Samba Server→On を選択し Ok を押して下さい。



※ デフォルト値は Off です

- ② Network→Samba Server→HostName を選択し Ok を押して下さい。



- ③ Host Name を入力して下さい。
- ④ Ok アイコンを選択し Ok ボタンを押して決定して下さい。
- ⑤ 同様に” Workgroup” も設定して下さい。

※ PC 画面での X40 の表示の仕方 (windows7 の場合)

- ① スタートアイコンを右クリックしモニターを表示させて下さい。
- ② マイコンピューターを選択してクリックして下さい。
- ③ 『ネットワーク』を表示させて下さい。
- ④ 『ネットワーク』をクリックしサーバー (X40のデフォルトホスト名はX40です) がローカルなネットワークに接続していることを確認して下さい。
- ⑤ “x40” を選択してクリックして下さい。
- ⑥ LocalStoragesとMusicDB. という二つのフォルダーが表示されます。

※ 注意 MusicDB フォルダーにはアクセスしないでください。

MusicDB フォルダーの内部データが編集されたり、削除されたりすると重大なトラブルを引き起こす可能性があります。

5-5-2 Network Sharing (Samba Client)

ここではNAS との接続方法を記入します。

1) シェアフォルダーの構築方法



① ネットワーク接続中にBrowser →”NET”を選択しOkボタンを押して下さい。

② 'Add share' が表示されます。



③ 左の画面が表示されたところで、Serverをクリックしネットワークの設定をして下さい。

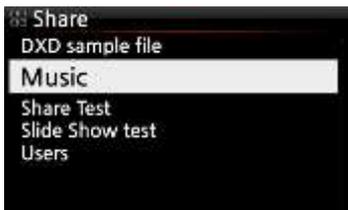


※ 『WORKGROUP』や『ユーザーPC』を設定すると、左のような画面が表示されます。



※ ユーザー名のデフォルト値は guest です。

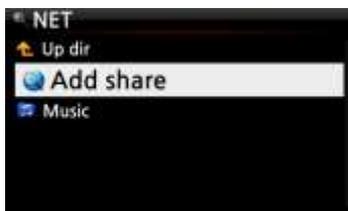
④ 共有にカーソルを合わせ選択しそれをクリックすると共有フォルダーは、以下の画像の様に表示されます。



- ⑤ 追加するフォルダーを選択して下さい。
- ⑥ 例えばmusicフォルダーを選択した場合
” Share” と” Nick name” に” Music” が表示されます。
そしてその” Nick name” がネットワーク上でも表示されます。

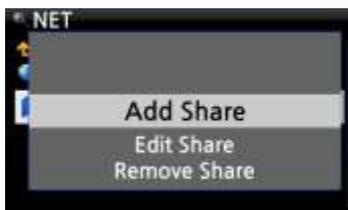


- ⑦ Nick Name (Music) は自由に変更が可能です。
※ただし同じNick Name は使えません。
- ⑧ データ入力後 Ok アイコンを選択し Ok ボタンを押すと
入力したデータが画面に表示されます。



- ⑨ この作業をすることで Share フォルダーの中に
” Music “ フォルダーを作成することができます。

2) shared フォルダー内のフォルダーの編集方法



- 1) 編集したいフォルダーにカーソルを合わせて下さい。
- 2) Menu ボタンを押して左のようなポップアップメニューを
表示させて下さい。ここでフォルダーの編集が可能です。

3) 以前にあなたが入力したキーワードを再度入力するときに便利な方法



入力したいところにカーソルをあて
Ok ボタンを押すと、過去に何か入力したものがあ
る場合には、過去履歴を表示させることができます。
キーワードの入力の際にそこから選択し、
入力することも可能です。

5-5-3 Web Server

X40 はウェブサーバー機能を使用することで次の機能を使用することができます。

- X40はリッピング時にアルバムカバーアートをインターネット上から探し出して保存することができます。
- 各曲に対してのタグ情報を自動取得編集することができます。
(取得できないものもあります)
- WebインターフェイスでX40の操作が可能です。
- Music DBから加えられた音楽データでプレイリストを作成することができます。

5-5-3-1. Web Server の構築方法

Web Server →On を選択し Ok ボタンを押して下さい。下のような画面が表示されます。



Reinstall→Ok アイコンを選択し Ok ボタンを選択してください。

下のような画面が表示されます。



5-5-3-2. Web インターフェイスの起動方法

X40 の Web インターフェイスは、ダウンロードなしでお持ちの PC またはスマートフォンから簡単に起動することができます。

- ① セットアップ画面からX40のIPアドレスを確認して下さい。
(Setup →Network→Network Info)

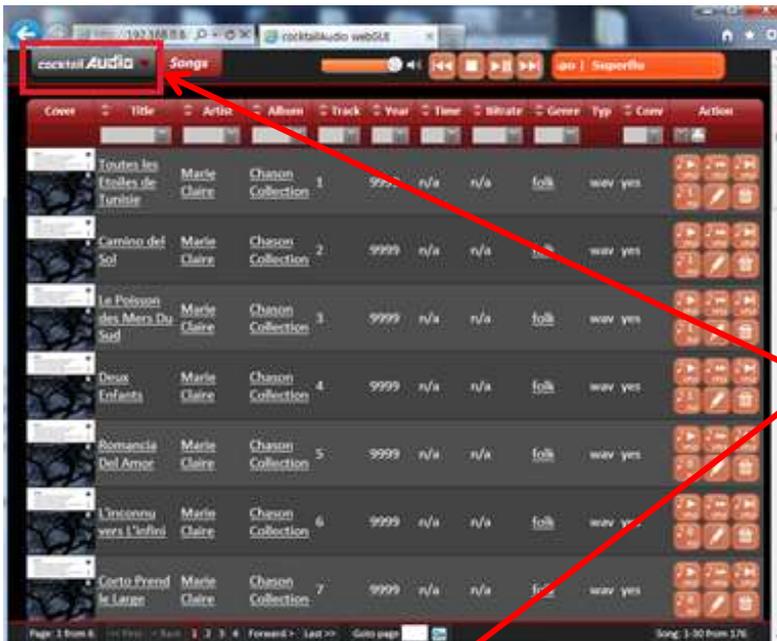


- ② X40と同一ネットワーク上のPCやスマートフォンのブラウザ画面を表示させ、ブラウザのIPアドレスを記入する欄にX40の割り当てられたIPアドレスを(例えばアドレスが、192.168.0.4の場合それを)入力して下さい。

- ③ スマートフォンないしPCの決定ボタンを押し、そのページを開いて下さい。



※ メイン画面



※ X40-Webインターフェイスの
操作方法についての概要

cocktail Audio にカーソルを
合わせて決定して下さい。

ポップアップメニューは
下のように表示されます。



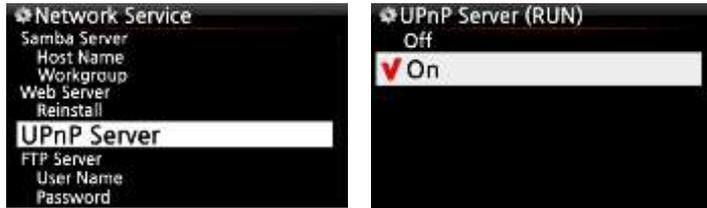
目的に従って9つの選択肢メニュー
からメニューを選んで下さい。



例えば” Album” を選んだ場合、
Music DBにあるすべてのアルバムを
リスト化することができます。
アルバム再生、アルバムアートの追加、
編集、削除、アルバムをプレイリストに
割り当てる等、様々なことが簡単
に行えます。

5-5-4 UPnP Server

UPnP 機器を使用して X40 を操作したい場合は次のような設定が必要です。



※ デフォルト値は On

5-5-5 FTP サーバーの設定

Network Service→FTP server を選択し On に設定してください。

ユーザー名を入力し、Ok を選択し Ok ボタンを押してください。

パスワードの設定をしてください。デフォルトパスワードは 0000 です。

できればパスワードはデフォルトではないものに変更してください。



【 TIP 】 X40 は” File Zilla” のような FTP ソフトウェアにも対応しています。

FTP サーバー機能でできること

File Zilla のような FTP ソフトウェアをインストールことで、PC と X40 の間で自由にファイルの移動や編集をすることができます。

5-6. Internet Service

ここでは Simfy と Qobuz の設定方法を記入します。

5-6-1. Simfy (現在日本ではまだサポートしていません)

詳細は www.simfy.com にて確認して下さい。



① Simfy (www.simfy.com)サイトから user nameとpasswordを取得する必要があります。

② セットアップ→ Internet Service → Simfy を選択して下さい。



③ user name と passwordを入力して下さい。

④ Simfy を使用することができます。

5-6-2. Qobuz (現在日本ではまだサポートしていません)

Qobuz も Simfy と同じように設定します。

詳細は www.qobuz.com を確認して下さい。



※ NOTE: 現在は日本ではまだサポートしていません。

5-7. System



Systemを選択してOkボタンを押して下さい。

5-7-1. OSD (ディスプレイ表示言語) Language



- ① System→OSD Language を選択し Ok ボタンを押して下さい。
対応言語が画面に表示されます。
- ② 使用する言語を選択し Ok を押して下さい。

【 TIP 】 デフォルト値は English です。

5-7-2. Auto Play



Auto Play を選択し Ok ボタンを押して下さい。
Auto Play は ON か OFF の設定が可能です。

※ デフォルト値は OFF です。

【 TIP 】 Auto Play 機能の詳細は 19-13 Auto Play (P 82)を確認して下さい。

5-7-3. Resume Play

X40 はこの設定を行うと、Music DB, Browser , i-Radio の再生に関して、前回停止したところから Resume 再生が可能です。



Resume Play を選択し Ok ボタンを押して下さい。
左のように On/Off が表示されます。

※ この機能は”アラーム機能”または
“オートプレイ機能”が有効になっていると
動作しません。

※機能優先度：アラーム機能 ----→オートプレイ機能 ----→ Resume Play機能 -

5-7-4. Factory Reset



この機能は設定を工場出荷状態に戻す機能です。
(リッピングデータ等は削除されません)
System→Factory Reset→Ok を選択し Ok ボタンを押して下さい。

5-7-5. HDD Sleep

X40 内臓ストレージの Sleep mode 移行への設定時間の設定です。

設定できる選択肢は以下の 5 通りです。

1. OFF
2. 10 分
3. 20 分
4. 30 分
5. 1 時間

OFF 以外の上記時間,X40 の内臓ストレージにアクセスされない場合、内臓ストレージは Sleep mode に移行します。



※ X40 の内臓ストレージが一度 Sleep mode に移行すると再度起動するのに 3~4 秒かかります。

5-7-6. Storage format

※ NOTE:X40 ストレージフォーマットはマルチパーティションに対応していません。

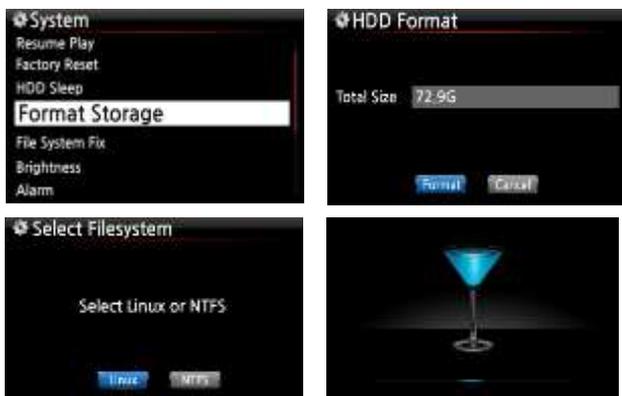


X40 のフォーマット機能は内臓ストレージと外部の USB 機器にも対応しています。フォーマットの仕方はどちらも同じで左の画像をご参照下さい。

5-7-6-1. 未フォーマットの HDD (パーティションしてない ストレージ)

NOTE 1: X40はストレージフォーマットのためNTFSとLinuxのフォーマットタイプに対応しています。

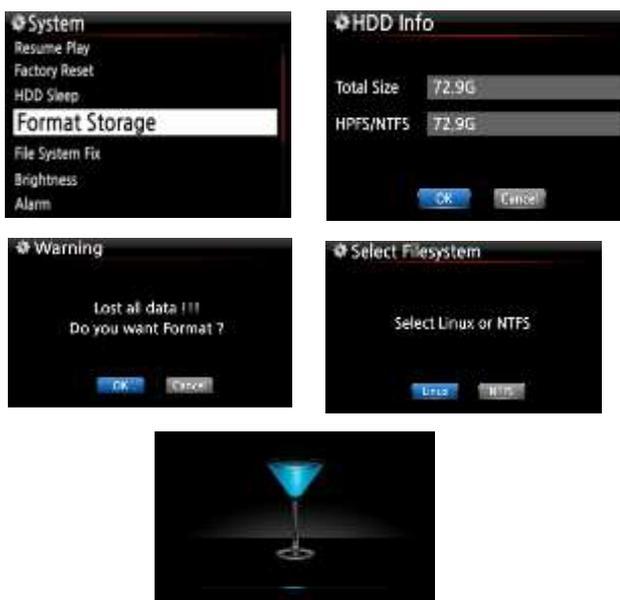
NOTE 2: Linux ファイルシステムは安定度、スピードに優れ NTFS は互換性に優れています。



- ① ストレージ(HDDまたはSSD)を搭載し、X40の電源を入れて下さい。
- ② セットアップ→システム→フォーマットストレージを選択し、Okボタンを押して左の画像を表示させて下さい。
- ③ Linux か NTFSを選択し、Okボタンを押して下さい。
- ④ 自動でフォーマットプロセスが行われます。
- ⑤ 全て完了すると、X40は再起動します。

5-7-6-2. すでに使用されているストレージの設定 (パーティション済みの HDD)

[注意] ストレージフォーマットを行うと、ストレージ内のデータは全て削除されます



- ① Setup→System→Format Storageを選択しOkボタンを押して、左の画像を表示させて下さい。
- ② Linux か NTFSを選択し、Okボタンを押して下さい。
- ③ 自動でフォーマットプロセスが行われます。
- ④ 全て完了すると、X40は再起動します。

5-7-7. ストレージシステムの確認動作

ここでは内蔵のストレージの動作状態確認の方法を記入します。

Setup→File System Fix を選択し OK ボタンを押して下さい。

下記の画面が表示されます。



【 警告 】 もし HDD に何の問題も見られない場合はこの作業を行わないで下さい。

5-7-8. 画面の明るさ設定

LCD 画面の明るさを以下の手順で調整することができます。



System→ Brightness を選択し OK ボタンを押して下さい。

スライダーが表示されるので明るさを確認しながら リモコンの LEFT または RIGHT ボタンを押して調整を行って下さい。

※ デフォルト値は 50

5-7-9. Alarm 機能

X40 は 6 つのアラーム時間の設定をすることができます。



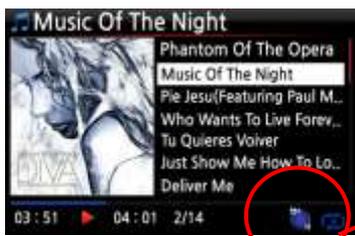
- ① System→Alarmを選択しOKボタンを押して下さい。
左のような画面が表示されます。
- ② スクリーンに表示された好きなラインを選択し
Okボタンを押して下さい。
- ③ 時間、サイクル、音楽ソースを設定して下さい。
- ④ スヌーズを ON に設定して下さい。
- ⑤ 確認をして Ok ボタンを押して下さい。

※ NOTE: アラームの設定は最短で現在時刻の 10 分後より設定が可能です。



- ① アラーム時間をアップ/ダウンボタンを使用して設定して下さい。
- ② アラームのサイクルを決定しOKボタンを押して下さい。
- ③ サウンドソースはプレイリスト、またはiRadio(My Favorites)から選んで設定して下さい。
- ④ スヌーズをONかOFFで設定して下さい。

NOTE : アラーム機能が正常にセットされていると次のようなアイコンが画面右下に表示されます。



※ NOTE

A: Alarm

2: Two

D: Day

このアイコンは2日後にアラームがセットされていることを意味します。

5-7-10. Auto Shutdown

X40 は、設定した日、時間に自動で電源を OFF する機能が搭載されています。



1. Setup→System→Auto Shutdown を選択し OKボタンを押して下さい。
2. 設定したいリストを選択して下さい。
3. 時間の設定は可能です。
4. 頻度を設定し、Okアイコンを選択し、Okボタンを押して決定して下さい。



※ NOTE: 値を変更するためにカーソルボタンを押して下さい。決定の場合は Ok ボタンを押して下さい。



左の画像が表示された場合、設定を保存するために、RETURNキーを押し、このセットアップを終了して下さい。

NOTE : オートシャットダウンが設定されると、確認のため下記のように音楽再生中にアイコンが表示される。



NOTE : 電源を入れて3分間は、オートシャットダウンは作動しません。

※NOTE

D: オートシャットダウン

3: three

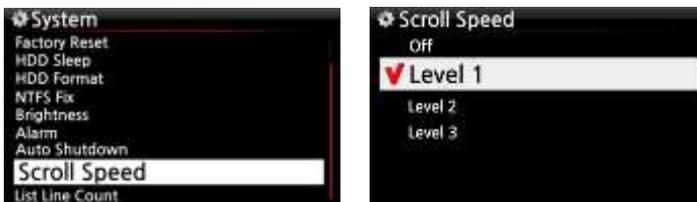
H: Hour



このアイコンは3時間後に X40 がシャットダウンすることを意味します。

5-7-11. Scroll Speed

ここでは画面スクロールのスピードを設定します。



※ デフォルト値はLevel1です。

5-7-12. List Line Count

スクリーンに表示されるキストラインの数を下のように設定できます。



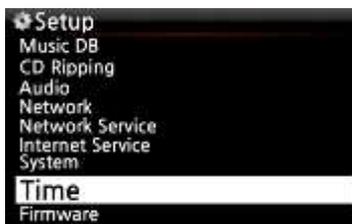
※ NOTE

LCDのデフォルトは 7ラインです。

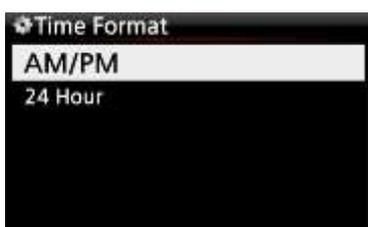
HDMIの外部出力は 11 lines がデフォルトです。

5-8. 時計設定

X40 はインターネット経由かもしくは手動で時計表示を調整できます。



5-8-1. 時計表示



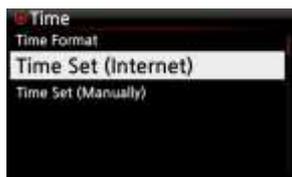
X40 は 音楽再生中に時間を表示することができます。

リモコンの CLOCK キーを押すことにより 時間が表示されます。

X40 の時計表示フォーマットは AM/PM と 24 時間の 2 種類に対応しています。

表示はどちらかのみです。

5-8-2. 時計設定 (インターネット)



Setup→Time→Time set(Inter net)を選択し、OKボタンを押して決定して下さい。

※ この設定を行う前にX40がインターネットに接続していることを確認して下さい。



GMT JAPAN を選択し OK ボタンを押して下さい。

【 TIP 】 デフォルト値は MT+00 London

5-8-3. 時計設定(マニュアル)

ネットワーク接続がない場合でも 時計設定は以下の通り行えます。



- ① Setup→Time→Time set (Manual) を選択しOKボタンを押して決定して下さい。
- ② リモコンのカーソルを使用し 手動で時間を設定して下さい。完了したところでOkを選択し Okボタンを押して下さい。

5-9. ファームウェア

ここでは 現在の X40 搭載のファームウェアバージョンの確認と、ファームウェアバージョンアップの方法を記載します。



セットアップ→ファームウェアを選択し、Ok ボタンを押して下さい。

5-9-1. 現在のファームウェア



現在のファームウェアバージョンは、以下の手順で確認できます。

Firmware → Current Version を選択し Ok ボタンを押して下さい。左の画像のように表示されます。

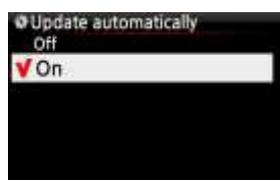
5-9-2. マニュアルファームウェアアップデート



- ① 新しいファームウェアを USB ストレージ格納するか内蔵ストレージに搭載して下さい。
- ② その USB ストレージを X40 の USB ポートに接続して下さい。
Setup → Firm ware → Update manually を選択し Ok ボタンを押して下さい。
- ③ 新しいファームウェア xxxxxxxxxx.pkg ファイルを選択し OK ボタンを押して下さい。
- ④ アップデートが正常に行われると X40 は再起動します。



5-9-3. 自動アップデート (ネットワーク経由のファームウェア自動アップデート)



X40 は、自動的にネットワークを介してファームウェアを更新します。
もし自動更新を行われたくない場合は、左の画面のように
Firmware → Update automatically の順に選択し
ok ボタンを押して下さい。

5-9-4. ファームウェアアップデートの自動化について

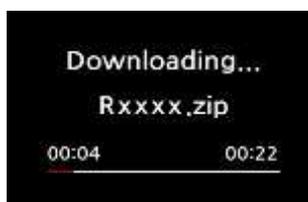
この機能は X40 がネットワーク（インターネット）接続している時にだけ作動します。

この機能は本国のサーバーシステムを確認し、自己のファームウェアのバージョンより高いバージョンを見つけると X40 が自動でバージョンアップをする機能です。

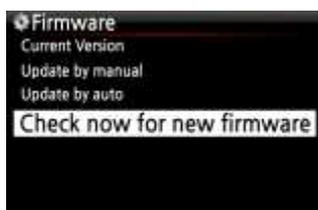


NOTE: もしバージョンアップをキャンセルする場合でも [New Firmware] フォルダーは内蔵ストレージに自動で生成されます。
またこのフォルダーを削除する場合もう一度左のような画面が表示されます。

NOTE: 上記画面でOkが選ばれるとX40は新しいファームウェアを自動的にダウンロードし、ファームウェアをアップデートするために自動的に再起動します。
またその時には、下記のような画面遷移を行います。



5-9-5. ファームウェアの確認



X40 のファームウェアのバージョン確認は、
”新しいファームウェアの確認” を選択して下さい。
また新しいバージョンがリリースされている場合に
ここを選択すると、ダイアログウィンドウが表示されます。

6. Music DB

6-1. X40 の Music DB について

X40 の Music DB はリッピングされたデータを非常に簡単にわかりやすく、なおかつ使い易く整理するための機能です。

CD をリッピングした時に必要な情報（アルバムのトラック情報、アーティスト情報、作曲家情報、カバーアート、ジャンル情報、等々）をファイル形式に関係なく、整理、編集しなおかつそれぞれが必要なおきに簡単に検索し、呼び出すことができる機能です。

またインターネットに接続することで、それらの情報を簡単に取得することができます。一部データがないものについては、リモコンや別売の USB キーボードで編集が可能で、リッピング後のデータに関しても、自由にいつでも編集することが可能です。

6-2. Free DB とは

Free DB は、リッピングされた CD データをもとにインターネットを経由してリッピングされた CD に必要な情報を（アルバムのトラック情報、アーティスト情報、作曲家情報、カバーアート、ジャンル情報等々）自動で取得するデータベースソフトです。これを使用すると、簡単に必要な情報（アルバムのトラック情報、アーティスト情報、作曲家情報、カバーアート、ジャンル情報等々）を取得することができ、Music DB を構築するスピードが飛躍的にアップします。

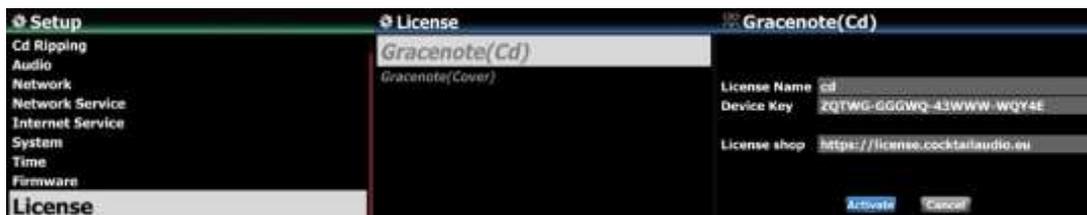
6-3 Gracenote について

cocktailAudio では CD メタ情報やカバーアートを取り込むためのデータとして FreeDB の代わりに Gracenote を使用することができます。

Gracenote サービスは **2年間無料** ですが 2年後、Gracenote サービスを継続して使用する場合は、ライセンスショップから **1 サービスごとに、5 ユーロ/年**を支払う必要があります。

Gracenote サービスを有効にするためには、最初に以下のように操作をする必要があります。

1. Setup > License に移動します。
2. [License] をクリックすると、下の画面が表示されます。
3. ライセンスを有効にするために必要なライセンス名とデバイスキーがあります。
4. [Activate] をクリックしてください。



※有効期限が過ぎてしまうとリッピングしたときにカバーアートなどが表示されなくなります。

7. CD Loading (Ripping)

CD Ripping 後のデータに関しましては、隠しフォルダー（フォルダー名は DB フォルダー）に収納されます。しかしそれを確認することはできません。

【 TIP 】 CD RippingをしてMusic DBを構築する際には、X40はインターネット環境に接続していることを推奨します。（アルバムアートやその他の音楽データの取得がよりしやすくなります）

7-1. CD リッピングの方法

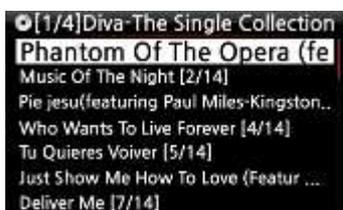
X40 でリッピングを始める前にネットワーク（インターネット）に接続されていることを確認して下さい。



- ① CD を X40 のスロットルに挿入して下さい。
- ② CDPlayer/Rip アイコンを選択し OK ボタンを押して下さい。
X40 は自動で Free DB データベースをチェックし CD の情報を取得します。

【 TIP 】

もし X40 がインターネットと接続されているにも関わらず、実際の音楽タイトルの代わりにトラックリストを表示する場合は、CD を再度入れ直して下さい。



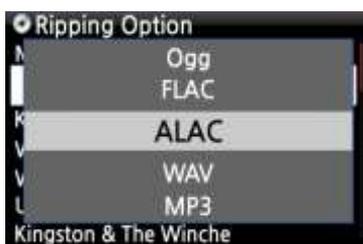
- ③ CD リッピングを行うために、リモコンの MENU ボタンを押して
下記画像のポップアップメニューを画面に表示させて下さい。

7-1-1. Ripping All

この機能は挿入した CD のすべての音楽データが、対象でリッピングを行います。

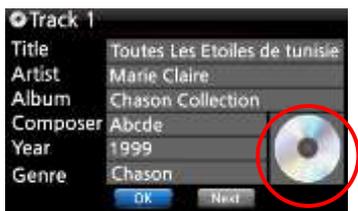


- ④ Ripping All を選択して Ok ボタンをして下さい。
- ⑤ 次の項目が画面に表示されます。
5つの項目（WAV, ALAC, MP3, OGG, FLAC）から
お好みのファイル形式を選択し Ok ボタンを押して下さい。



X40 は、読み取った CD の情報をもとに Free DB データベースに個々の情報（タイトル、アーティストなど）を検索しに行きます。

- ⑥ 選択の際には先の画像のようにカーソルをお好みのファイル形式のところに合わせて ok ボタンを押して下さい。

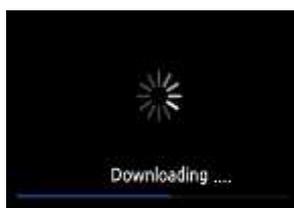
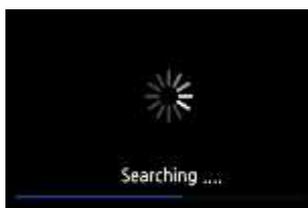


- ⑦ CD アイコンを選択し Ok を押して下さい。
ポップアップメニューが表示されます。

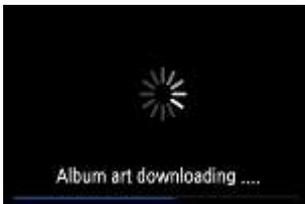
NOTE: 複数の CD のメタデータが存在する場合には、
“Next” を選択することで 別のメタデータ表示することができます。



- ⑧ 4つのサイトメニューとストレージが表示されます。
Google, Amazon, 7Digital, Allcdcovers です。
その中からお好きなサイトを選択して Ok ボタンを押して下さい。



- ⑨ X40 はその際に 3つのステップの処理を自動で行います。
検索/ダウンロード/表示



- ⑩ 表示された画面のアルバムアートからお好みのものを
1つ選択し、Ok ボタンを押して下さい。



- ⑪ OK/other/Cancel の確認画面が表示されるので
決定する場合は Ok を選択し Ok ボタンを押して下さい。
⑫ 選ばれたアルバムアートは自動的にダウンロードされ
カバーアートとして割り当てられます。



- ⑬ データベースのすべての項目(アルバムアートも含む)が
設定し終わりましたら、Ok アイコンを選択し Ok ボタンを
押して下さい。
⑭ リッピングが開始されます。



- ⑮ リッピングが完了したら左の画像が表示されます。
Ok アイコンを選択し OK ボタンを押して CD を取り出して下さい。

7-1-2. トラックごとのリッピング

トラックごとのリッピング方法についてご説明します。



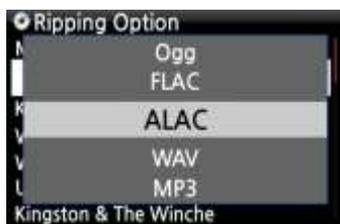
① Ripping Tracks を選択してOkボタンを押して下さい。



② リッピングしたいトラックを選択し、リモコンの右ボタンを押して下さい。

選択されたトラックは上記の画像のように赤色に変化します。

選択し終わりましたらカーソルをOkに合わせOkボタンを押して下さい。



③ 次の項目が画面に表示されます。

5つの項目 (WAV, ALAC, MP3, OGG, FLAC) から
お好みのファイル形式を選択し Ok ボタンを押して下さい。

【 TIP 】 X40 にリッピングのために CD を挿入すると最初は WAV フォーマットが選択されます。

たとえ MP3 が選択されているケースでも X40 は WAV ファイルに一度変換してから改めて MP3 に変換する処理を行っています。

X40 はリッピング動作をしているとき以外で電源がついているときは常にファイルコンバート作業を行っています

【 TIP 】 リッピング画面上の各項目の説明。



① リッピング中のトラック名

② リッピング中トラック番号/CDの総トラック数

③ トータルの再生時間

④ 現在トラックの再生時間

⑤ 実際にリッピング掛かっている時間

⑥ リッピングしている時間

7-2. X40 がネットワーク（インターネット）に接続されていない場合の Ripping



- ① CD を X40 のスロットルに挿入して下さい。
- ② CD Player/Rip アイコンを選択し OK ボタンを押して下さい。
- ③ CD リッピングを行うために、リモコンの MENU ボタンを押して下記画像のポップアップメニューを画面に表示させて下さい。



ネットワーク（インターネット）接続していない状況では、左画像のようにメタデータ（タグ情報）の取得をすることができません。

ただし、X40 のストレージに Free DB をインストールした場合ある程度の CD に関して、メタデータ（タグ情報）を取得することができます。

7-2-1. Ripping All（オフラインの時）

この機能は挿入した CD のすべての音楽データを対象としてリッピングを行います



- ④ Ripping All を選択し Ok ボタンを押して下さい。
次の項目が画面に表示されます。
- ⑤ 5 つの項目（WAV, ALAC, MP3, OGG, FLAC）からお好みのファイル形式を選択し Ok ボタンを押して下さい。



- ⑥ リモートのコントローラまたは USB キーボードで情報を手動で入力して下さい。次のステップに行くためには、最低限アルバム名を入力しなければなりません。



【 TIP 】 USB キーボードを使用する場合は X40 の電源を入れる前に USB キーボードを X40 に接続させる必要があります。



- ⑦ 全ての入力完了したところで Ok を選択して Ok ボタンを押して下さい。リッピングを開始します。

※ 左の画面はリッピング中のものです。



- ⑧ リッピングが完了すると左のような画面が表示され
OK アイコンを選択し OK ボタンを押して CD 取り出して下さい。

※ NOTE : Web インターフェイスを利用しての Music DB の編集も簡単に行えます。

7-2-2. Ripping Tracks

この手順は、トラックを選ぶ以外は、上記以外とほぼ同じ手順です。

7-3. Free DB が X40 のストレージにインストールされた場合

X40 に Free DB データベースをインストールすることをお勧めします。

Free DB データベースをインストールするとオフライン上でもオンラインと同じように CD の情報を取得すること(カバーアートを除く)が可能です。

7-4. CD リッピング変換後のステータスの確認

この機能は CD リッピング後のデータの状態を確認できます。



- ① チェックしたいアルバムにカーソルを合わせます。
② INFOボタンを押して下さい



- ③ 左のようなステータス情報が表示されます。

※NOTE: Music DB 全体の変換プロセスや状態を確認したい場合は、ホーム画面に移動します。

音楽 DB のアイコンにカーソルを置き、INFO ボタンを押して下さい。



8 Music DB の使い方

8-1. Music DB からの再生

【 TIP 】 CD のリッピングが完了するとその音楽データは Music DB に移動します。

Music DB 画面に移動すると、すぐにその音楽データを見つけることができ、なおかつそれを再生することができます。ごく稀にフォーマット変換が完了していないものが存在しますが、それに関しては、【 TIP 】 7. CD Loading (Ripping) P47 を参照してください。

X40 でリッピングした CD データは全て Music DB に整理されます。



- ① Music DB アイコンを選択し Ok ボタンを押して下さい。
アルバムリストは下記のように表示します。



- ② アルバムを選択し OK ボタンを押して下さい。
アルバム内のリストがすべて表示されます。



- ③ 再生したい曲を選択し Ok ボタンを押して下さい。
選択した曲が再生されます。



再生中は左のような画面が表示されます。

【 TIP 】 リモコン INFO ボタンを押すことで下記のように情報画面が切り替わります。

[Playing 画面]



[Info 画面]



[Title List 画面]



【TIP】 リモコンのメニューボタンを押すと次のよう別の項目表示方法を選ぶこともできます。



【TIP】 Playing 画面----- INFO ボタン押下----- 詳細画面



- ① 現在再生中のアルバムタイトル /曲のタイトル
- ② 1 曲前の曲タイトル
- ③ 現在再生中の曲のタイトル
- ④ 次の曲タイトル
- ⑤ 再生モード
(繰り返しやランダム等々)
- ⑥ アラームアイコン
- ⑦ オートシャットダウンアイコン
- ⑧ スリープアイコン
- ⑨ # 現在のトラック番号/
現フォルダーのトラック数#
- ⑩ 現在再生中の曲の収録時間
- ⑪ 再生アイコン
- ⑫ 現在再生中の曲の再生時間
- ⑬ 現在再生中のアルバムアート

- ① 現在再生中のアルバムタイトル /曲のタイトル
- ② アーティスト
- ③ アルバム
- ④ 作曲家
- ⑤ ジャンル
- ⑥ 発売年
- ⑦ ファイルフォーマット/
レゾリューション/Bit rate
- ⑧ 再生モード(繰り返しやランダム 等々)
- ⑨ # 現在のトラック番号/
現フォルダーのトラック数#
- ⑩ 現在再生中の曲の収録時間
- ⑪ 再生アイコン
- ⑫ 現在再生中の曲の再生時間
- ⑬ 現在再生中のアルバムアート

8-2. 検索機能.

Music DB に多くの音楽データを収録した際に聞きたい曲を探し出す機能です。



① アルバムメニュー画面でリモコンの、SEARCHボタンを押して下さい 左の画面が表示されます。



② リモコンないしUSBキーボードでアルバムないしアルバム名の一部をフィールドに入力して下さい。

NOTE: アルバムの頭数文字でも候補のものがあれば表示されます。

【TIP】 検索機能は次の画面からでも起動させることができます。

“アーティストリスト画面・ジャンルリスト画面・タイトルリスト画面”



8-3. Music DB の管理と編集

ここでは、Music DB に収録した曲データフォルダーの削除、編集、ほかのストレージ (NAS・USB HDD・USB メモリースティック等々) へのエクスポート等の仕方を記載します。

8-3-1. Music DB の音楽データの削除と Rename



- ① アルバムリスト (アーティストリスト, ジャンルリストでも行えます。) を開いて下さい。
- ② 変更したいところにカーソルを合わせて下さい。
- ③ MENU ボタンを押してメニューを表示させて下さい。



- ④ 変更したい内容を選んで (ここでは Delete を選択) Ok ボタンを押して下さい。



- ⑤ 確認画面が表示されるので内容を確認して Ok を選択して Ok ボタンを押して下さい。

【TIP】 アーティストリストやジャンルリストでも同様なことが行えます。

8-3-2. Music DB に収録されている音楽フォルダーを 外部のストレージに エクスポートする方法

Music DB のデータを別のストレージに移す方法は次の通りです。



① リモコンでMusic DB画面に移行して下さい。アルバムリストが画面に表示されます。移動したいフォルダー(アルバム)を選択して下さい。左の画面のようにメニューボタンを押してメニュー画面を表示させ、“Export Songs”を選んで下さい。

② Okボタンを押して次の画面に遷移させて下さい。



③ 左のような画面が表示されますので、移動先をUSBやNetから選択して、Okボタンを押して下さい。その時、下記の画面が表示されます。



④ 左の画面が表示されたところで”New Folder”を選択してOkボタンを押し、新しいフォルダーを作成して下さい。その時、下記の画面が表示されます。

⑤ フォルダー名を入力し Ok を選択して Ok ボタンを押して下さい。



⑥ 例えば，“Diva – The Singles Collection”と入力した場合下記の画面のように表示されます。



⑦ ”Diva – The Singles Collection”にカーソルを合わせて選択し Ok ボタンを押して下さい。その時、下記画面が表示されます。



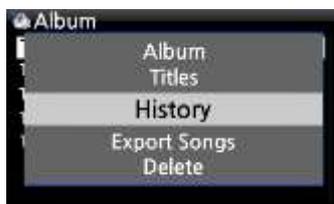
⑧ ok ボタンを押してください。エクスポートが開始されます。



左がエクスポート中の画面です。

8-3-3. History 機能

この機能は MusicDB で直近に再生された音楽データから最大 10 曲を選んでリスト化することができます。



- ① Music DB画面に移行してください。
- ② MENU ボタンを押してメニュー画面を表示させて下さい。
- ③ ‘History’ を選択しOKボタンを押して下さい。

8-3-4. ‘セクション再生’ 機能の設定

[Playing 画面]



- ① 再生画面中でリモコンの左ボタンを 押すと “starting point” の設定となります。

- ② リモコンの右ボタンを押すと “ending point” の設定となります。



※ NOTE

- 1) “セクション再生” が設定されている場合 “starting point” と “ending point” の間でリピート再生が行われます。
- 2) リモコンの数字ボタンでも簡単に “セクション再生” の設定が可能です。

※セクション再生が設定されている時、各リモコンボタンは次のように動作します。

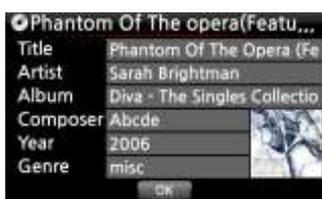
- * PREVIOUS ボタン: “現在の曲から最後まで” セクション再生する。
- * NEXT ボタン: “最初の曲から現在の曲まで” セクション再生する。
- * -15 (SEEK) ボタン: 左ボタンの設定する 1/4 秒の時間左に移動し “starting point” を設定します。
- * +15 (SEEK) ボタン: 右ボタンの設定する 1/4 秒の時間右に移動し “ending point” を設定します。
- * STOP ボタン: セクション再生の設定をクリアにします。

9. Music DB内のTAG情報を編集する

TAG 情報（音楽に関する情報(作曲家, アルバム名, アーティスト名, アルバムアート等々) を次の手順で編集することができます。



- ① 編集したい曲にカーソルを合わせてMENUボタンを押して下さい。
- ② 左の画像が表示されるので ”TAG Edit” を選択してOkボタンを押すと下記のような画面が表示されます。



- ③ リモコンかUSBキーボードで情報を編集して下さい。
完了しましたらOkアイコンを選択しOkボタンを押して下さい。

【 TIP 】 Web インターフェイスでも同様に簡単に編集が可能です。
詳細は Web インターフェイスガイドを確認して下さい。

10. CD のダイレクト再生

10-1. X40 がネットワークに接続されている場合(インターネット)



- ① CDをX40に挿入する
- ② CD Play/Ripアイコンを選択しOK ボタンを押して下さい。

【 TIP 】 X40 がネットワークに接続されていると、下の画像のような画面が表示されます。



- ③ 再生したい曲を選び ok ボタンを押して下さい。
- ④ 再生画面は次のように表示されます。



再生中の画面は左の通りです。

【 TIP 】再生画面中でリモコンの INFO ボタンを押すと下記の画面のように音楽情報画面が切り替わります。



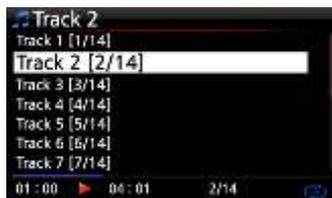
10-2. X40 がオフライン状態で動作している場合



- ① CDをX40に挿入する
- ② CD Play/Ripアイコンを選択しOK ボタンを押して下さい。



- ③ 再生したいトラックナンバーを選択しOk ボタンを押して下さい。そのトラックの曲が再生されます。



再生中の画面は左の通りです。

10-3. X40 がオフライン環境にあるが Free DB をインストールしている場合

X40 がオフライン環境で動作しているが、Free DB をインストールしている場合に CD のダイレクト再生を行うと、ほとんどの CD で X40 がネットワークに接続されている場合 (インターネット)p59 と同様に、音楽データを取得した状態で再生を行うことができます。(一部情報を取得できない CD もあります)

11 Playlist

X40 には 3 種類のプレイリストがあります。

- ① “normal Playlist”
- ② “My Playlist”
- ③ “Advanced My Playlist”

① の “normal Playlist” は X40 が停止または電源が切れてもプレイリストは消えませんが、② と③の “My Playlist” と “Advanced My Playlist” は バーチャルなプレイリストであるため、X40 が本体停止や電源が切れると、この二つのプレイリストデータは削除されます。

※ NOTE: My Playlist 機能が” Advanced My Playlist” 機能を使用した場合
My Playlist が プレイリストフォルダの中に自動で作成されます。

11-1. Playlist

11-1-1. Playlist の作成方法

Playlist を作成する前に Music DB に音楽データが収録されていることを確認して下さい。



- ① Playlist アイコンを選択し、Okボタンを押して、Play list 画面を表示して下さい。

【 TIP 】 Auto Play フォルダーは自動的に作成され、ユーザーがこれを削除することはできません。



- ② MENU ボタンを押し、ポップアップメニュー画面を表示して下さい。



- ③ “New PLS” を選択し、OK ボタンを押して下さい。



- ④ Playlist 名を入力し ok を選択し Ok ボタンを押して下さい。以下に示すように Playlist は Music DB に表示されます。



【TIP】 Playlist はトラック単位かアルバム単位で作成することが可能です。
Playlist に入りたい音楽を選択し PLAYLIST ボタンを押すことで音楽を Playlist に追加することができます。Playlist に追加されたタイトルの最後に” +” アイコンが表示されます。

※ NOTE: カーソル合わせは リモコンの (UP/DOWN)ボタンで行えます。
Okボタンを押すと アルバムリストのカーソルが下方方向に移動します。



上記の手順を進めることでたくさんの曲を追加することができます。
曲を追加した後に、RETURN ボタンを押して下記画面を表示して下さい。

Ok アイコンを選択し Ok ボタンを押して下さい。
Playlist1 は Playlist フォルダーに格納されます。
Playlist フォルダーはホーム画面の
Playlist アイコンで確認することができます。



Playlist は左の画面のように表示されます。

※ NOTE: 作成したプレイリストに複数の曲やアルバムを追加するには、
追加するプレイリストにカーソルを移動し、メニューボタンを押して下さい。

11-1-2. Playlist List に曲を追加する

Music DB で音楽再生中にプレイリストを追加する手順は以下の通りです。

【 Playing 画面 】



- ① 上記のように再生中のPlaying画面でリモコンの”PLAYLIST” ボタンを押して下さい。
- ② Playlistを選択し曲を追加して下さい。
- ③ Okボタンを押して確定するとPlaylistに曲が追加されます。

11-1-3. Playlist 再生の方法



- ① Home 画面の Playlist アイコンを選択するかリモコンの”PLAY LIST” ボタンを押して下記画面を表示して下さい。



- ② 確認したいPlaylist を選択して OK ボタンを押して下さい。下記のような Playlist 内の画面が表示されます。



- ③ 再生したい音楽を選択し Ok ボタンを押して下さい。

【 TIP 】 Play モードが” Repeat All” を選択している場合、Playlist 内の曲が Repeat All されます。

11-1-4 Playlist 内の曲順を変更したい場合

- ① プレイリストの RIGHT ボタンによって変更したい曲を選択して下さい。
- ② 矢印の UP/DOWN をボタン押してカーソルを変更したい曲に合わせて下さい。
- ③ 選択した曲を決定するために、LEFT ボタンを押して下さい。
- ④ 変更後の場所で LEFT ボタンを押して変更を決定して下さい。

11-1-5. Playlist の編集方法

- ① プレイリスト画面に移動して下さい。
- ② リモコンの MENU ボタンを押して下さい。メニューが表示されます。
- ③ そのメニューを選択することで既存プレイリストの削除や既存プレイリストに音楽を追加したり、既存プレイリスト内の音楽データを全削除したりすることができます。



11-2. My Playlist (Virtual Playlist)

“My Playlist”を作成後、再生を停止したり電源を切ったりするとこのPlaylistは削除されます。

この機能は Music DB のみで動作します。



- ① カーソルを曲、アルバム、アーティスト、ジャンルのどれかのリストに合わせて下さい。
- ② リモコンの“MY PL”ボタンを押して下さい。
- ③ 選択されたアルバムリストはMy Playlistとして作成され、下記のように表示され、再生されます。
- ④ フォルダー内のPlaylist画面表示中に”Return”ボタンを押すとMy Playlistが表示されます。



【 TIP 】 マイプレイリストが再生されている時に、アルバムや曲を探したい時は RETURN ボタンを押すことで、アルバムや曲を探することができます。

アルバムや曲にカーソルを置き、MYPL ボタンを押すと下記のような画像が表示されます。



Play Now: 選択したアルバムをすぐに再生させます。

Play Last : 選択したアルバムを現在再生中のリストの最後に追加します。



Play Next : 選択したアルバムを現在再生中のリストの次に追加します。

11-3. Advanced My Playlist (Virtual Playlist)

Advanced My Playlist (Virtual Playlist) の作成は下記の手順で行えます。



① トラックを超えてPlayリストに加えたい曲があるときは、再生画面中で“ADMYPL” ボタンを押して下さい。



② 左の画面の様なポップアップメニューが表示されます

③ メニューから一つを選択しOkボタンを押して下さい

④ 曲は再生され、Advanced My Playlistに追加されます。

12. Music Streaming 機能

X40 は様々なネットワークプロトコルに対応しています。

UPnP サーバー/クライアント/レンダラー/サンバサーバー/クライアント

12-1. UPnP Server/Client ,Samba Server/Client 機能

X40 はネットワークを介して UPnP Server/Client または Samba Server/Client 機器との接続が可能です。ネットワーク接続が完了しているとブラウザを介してお互いの機器の接続を確認することができます。



※ネットワーク機器との接続については、5-2 Network Sharing (Samba Client)p30 を参照して下さい。

12-2. 同一ネットワーク上に複数の X40 が存在する場合

X40 内の音楽データはネットワーク上にある別の X40 での再生が可能です。

下の図の通り、例えば一台をパソコンの近くで音楽データを搭載し、また別の X40 をベットルームやキッチンにおいて同一のネットワーク環境を構築すれば、ベットルームやキッチンにおいて PC のそばに置いた X40 の音楽データを共有化し、再生することが可能です。



12-3. Sonos. を利用すると X40 は音楽サーバーとしても機能します



12-4. Share play 機能

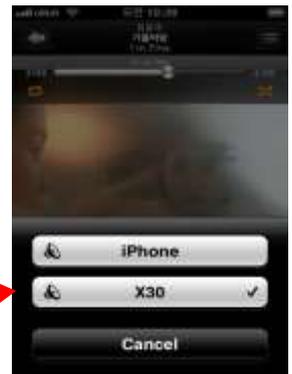


X40を通して、iOS機器の音楽データを再生することができます。

左の写真のように音楽プレーヤーをあなたのiOS機器にダウンロードして下さい。

赤丸内のアイコンをクリックして下さい。

右のメニューが表示されます。X40を選択して下さい。



13.i-Service

i-Serviceを接続する前に、X40がネットワーク(インターネット)に接続されていることを確認して下さい。

【TIP】 i-radio stations (buffering)を調整する時に、音声遅延が発生することがあります。

この遅延はネットワーク(インターネット)接続に起因するものですので、
ネットワーク(インターネット)の接続状況を確認して下さい。

13-1. Internet Radio

13-1-1. Internet Radio.の使い方

X40は独自のインターネットラジオレシーバーサーバーに対応しています。
これに基づきジャンルごと国別ごとで多くの番組を接続、試聴することができます。

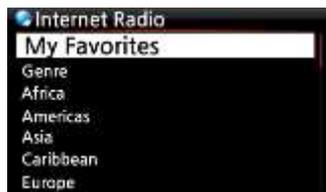


【TIP】 X40がインターネットに接続している時のみ
Home画面上でのi-Serviceアイコンは有効化します。
オフラインの時は無効化しています。

i-Serviceアイコンを選択しOkボタンを押して下さい。
下記のような画面が表示されます。



Reciva i-Radioを選択しokボタンを押して下さい。
以下の画面が表示されます。



画面の通り、国やジャンルや番組を選択して下さい。



正常に再生されると左のような画面が表示されます。

13-1-2. お気に入りのステーションを My Favorites に追加する

【 TIP 】 My Favorites フォルダールによく聞くステーションを追加しておくで再生をスムーズに行えます。



ステーション再生中にリモコンの FAVORITE ボタンを押すと右のような画面が表示されて My Favorite フォルダールにステーションを登録することができます

13-1-3. My Favorites 画面への移動方法



上記の手順で My Favorites リストを作成した後に、リモコンの FAVORITE ボタンを押すと、My Favorites リスト画面に移動します。

また、ステーション再生中にメニューボタンを押すと、左のようなメニュー画面が表示され、そのメニューから My Favorites リスト画面に移動することもできます。

13-1-4. Internet Radio ステーションの検索方法



Internet Radio ステーションは、次のような手順で検索することができます。

- ① Internet Radio 画面でリモコンの [SEARCH] ボタンを押して下さい。
- ② 左のような画面が表示されます。
- ③ 入力ステーションの最初のアルファベット数文字を入力し、[OK] ボタンを押して下さい。

13-1-5. Internet Radio の録音フォーマット

NOTE 1: 連続 3 時間以上録音しないでください。

NOTE 2: 目安として、MP3 フォーマットで録音した場合、約 1 時間(54MB)、2 時間(108MB)、3 時間(162MB)の容量が必要となります。

NOTE 3: X40 は i-Radio を録音することができます。

しかし録音するフォーマットについては、MP3, AAC, ASF 等々、番組が何のフォーマットで放送しているかによります。

(番組によっては録音できないものもあります)

13-1-5-1. i-RADIO の録音の方法

録画を開始するには i-RADIO の再生中にリモコンの REC ボタンを押して下さい。
録音を停止するにはリモコンの STOP ボタンを押します

[Playing]



[Recording]



[Playing]



13-1-5-2. 録音したファイルの収納先

録音が始まったとき、自動的にハードディスク上に[IRadio Recording]フォルダーが作成されます。

I-Radio の録音されたすべてのファイルは[IRadio Recording]フォルダーに保存されます。

以下の画像をご参照下さい。

Home 画面→Browser→HDD1→ IRadio Recording の順に選択すると表示されます。

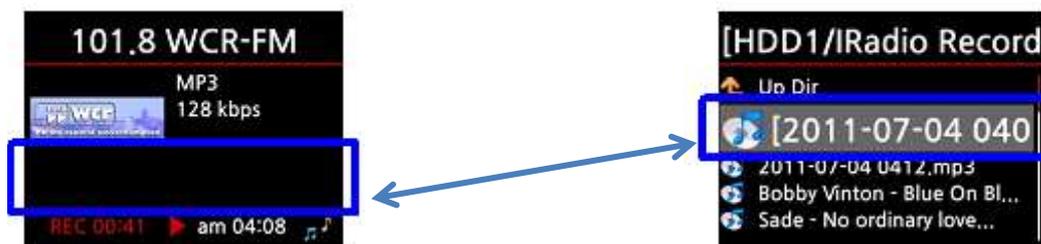


13-1-5-3. 録音したファイル名について

ステーション側で音楽のタイトルが表示される場合は録音データのファイル名は表示された音楽のタイトル名になります。



ステーションの放送においてタイトルが表示されない場合は、録音されたファイル名は'年 - 月 - 日 - 時間 (分/秒)'となります。下記の画面を参照して下さい。



13-1-5-4. 録音したファイルのデータ編集

録音したファイルに関しても X40 のオリジナルデータベースが適用され同じように簡単にデータの編集をすることができます。

編集したい録音ファイルにカーソルを合わせ Menu ボタンを押して下さい。

下記のような画面が表示されます。

[TAG EDIT]



[Import to DB]



[Copy File]



[Move file]



13-1-6. 録音予約機能

本機能は My Favorite 画面のなかでのみ動作します。

13-1-6-1. 録音予約の仕方



- ① “My Favorite” フォルダー表示させてください。
- ② “MENU” ボタンを押してポップアップメニューを表示させ” Reservation Recording” を選択し、以下の画面を表示させてください。



※ NOTE: OFF は何も録音予約がセットされないという意味です。

- ③ 「録音予約」を設定したい放送局にカーソルを合わせ、[OK]ボタンを押して、下記のような設定画面を表示させて下さい。



- ④ 左画面のような設定画面で必要事項を入力し、Okボタンを押して下さい。

※ NOTE: 3時間を超える連続録音はしないでください。



※ 録音予約が完了すると左の画像のように画面が表示されます。

- 06-05 22:10 -----> 6月5日午後10時10分に録音を開始されます。
- 1:00 -----> 録音時間
- Big B.... -----> ステーションの名前

13-1-6-2. X40 の録音予約設定後、スタンバイモードになっている場合 I (例えば 4:00PM / record for 3M に設定した場合) .

- ① X40 (設定時間 16 時の 3 分前) 15:57 に自動的に起動を開始します
- ② X40 は 15:59 (設定時間 16 時の 1 分前) にステーションの再生準備を開始します。
- ③ ボリュームは自動的に「ミュート」に設定されています。
- ④ X40 は、16:00 に設定されたステーションの再生録音を開始します。
16:03 まで記録を保持します。
- ⑤ 16:03 で記録を終了すると X40 はすぐに自身で自動的にスタンバイ状態に移行します。

II X40 の録音予約設定後、電源 On になっている場合 (例えば 4:00PM / record for 3M に設定した場合)

- X40は、現在の動作(再生等々)を停止し、15:59 (予約時間1分前) で設定のステーションを再生します。
- X40は午後4:00にステーションの録音を開始し、16:03まで録音をし続けます。
- X40は16:03で録音を停止しステーションを再生し続けます。

※ 複数のステーションを録音予約設定する場合

X40 は複数のステーションを録音予約設定することができます。

しかしながら、同時刻の設定は行えません。必ず、互いに重複しないように設定して下さい。更に上述の各アクティビティに必要な時間がありますため、必ず余裕を持った時間設定をして下さい。それが行われない場合、この機能は正常に動作しません。

- ※ 録音したファイルは、通常の録音ファイルと同様にハードディスクの「IRadio Recording」フォルダーに保存されます。また、ネットワークを介して、それを確認することもできます。
また、他のものと同じ様に、X40 のデータベースを利用し、タグ情報の作成編集をすることができます。

13-2. Online Music Service (Simfy)

Simfy の設定方法は 5-6 Internet Service を確認して下さい。

(現在、日本ではまだサービスを行っておらず、サポート対象外です)

13-3. Online Music Service (Qobuz)

Qobuz の設定方法は 5-6 Internet Service を確認して下さい。

(現在、日本ではまだサービスを行っておらず、サポート対象外です)

14.FM Radio

14-1. FM Radio の設定方法

※ NOTE: この設定を開始する前に FM アンテナの接続をもう一度確認してください。



- ① HomeメニューからFMRadioアイコンを選択しokボタンを押して下さい。
- ② X40 は全てのステーションを自動で検索します。
- ③ 再生したい一つのステーションを選択して、Okボタンを押して下さい。ステーションの再生が開始されます。



※ NOTE: 上記のような再生画面で、矢印 (UP / DOWN) ボタンで微調整を行うことができます。
矢印 (左/右) ボタンでステーションの検索をすることができます。



※ NOTE: RDSが利用できる国では、ステーションの情報が左の画像の赤い枠内に表示されます。

※ NOTE: ステーションリスト画面にカーソルを合わせてMENUボタンを押すと、下記のようなメニュー画面が表示されます。



編集機能を利用することで、Rename, Delete, Seek All, Clear & Seek All をすることができます。

14-2.FM ラジオ録音



FM ラジオ再生中にRECボタンを押すと、左記の画面のように録音を開始します。

STOP ボタンを押すと停止します。

※録音サンプルレートに応じた録音情報

*1) Recording サンプルレート	Recorded File			
	Size/録音時間	サンプルレート	ファイル名の構造	フォーマット
48KHz	691MB/1 時間	48KHz	ステーション名(周波数) +	WAV
96KHz	1,383MB/1 時間	96KHz	放送年+放送月+放送日	
192KHz	2,767MB/1 時間	192KHz	+時間	

*録音のサンプルレートについて：SETUP 画面で上記の3つサンプルレートを事前に設定できます。

※ NOTE: 録音されたファイルをMusicDBに移動させることもできます。

詳細は、18-4. How to edit the recorded file (P75) を参照して下さい。

そしてMusicDB内で、ほかのフォーマット(MP3, FLAC,OGG) に変換することもできます。

詳細は、P76を参照して下さい。

15.USB ポート

X40 の USB ポートは様々な機器に対応しています。

(USB メモリースティック, USB の外付けハードディスク, USB キーボード等々)

- ① X40 の USB ポートに USB デバイスを接続します。
- ② ブラウザの画面に移動します。下図のように USB デバイスがブラウザ画面に表示されます。



16. Browser

※ ブラウザアイコンを選択すると次の機能が使えます。



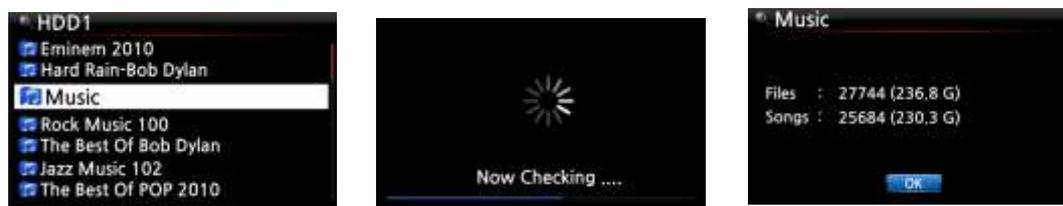
16-1 ファイルマネージメント機能

16-1-1 HDD、USB、フォルダーまたはファイルの状況確認

各ドライブにカーソルを合わせて INFO ボタンを押して下さい。情報は、次のように表示されます



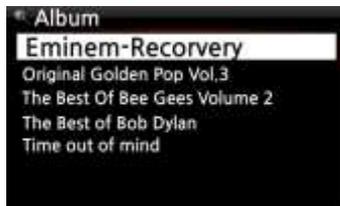
情報フォルダーを確認するには、確認するフォルダーにカーソルを置き、INFO ボタンを押して下さい。



ファイルの情報を確認するには、確認するファイルにカーソルを置き、INFO ボタンを押して下さい。



リッピング変換結果の情報を確認するには、アルバムにカーソルを置いて、INFO ボタンを押して下さい。



16-1-2. TAG Edit

この機能はファイルにのみ対応しておりディスクやフォルダーには対応していません。

- ① 編集したいファイルにカーソルを合わせて MENU ボタンを押して下さい。
- ② 下画面のようなポップアップメニューが表示されます。
- ③ TAG Edit を選択し Ok ボタンを押して下さい。
- ④ 下画面のような編集画面が表示されます。
- ⑤ 編集項目を記入し終了しましたら Ok アイコンを選択し Ok ボタンを押して下さい。



16-1-3. Music DB へのインポート

HDD や USB メモリ等に入っている音楽データを下記の手順を使うことで Music DB へ移動させることができます。



- ① Music DB へ移動させたいフォルダーにカーソルを合わせて MENU ボタンを押して左画像のようなポップアップメニューを表示させてください。
- ② Import to DB を選択し、Ok ボタンを押してください。
Music DB への移動が開始されます。



フォルダーの移動方法を”move”にするか”copy”にするか
選択することができます。
どちらかを選択しOkボタンを押して下さい。

NOTE ; move を選択した場合、インポート速度はコピーより高速になります。

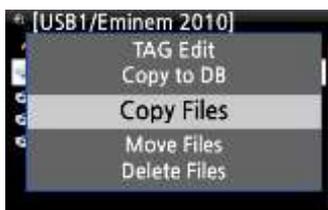
しかし、元のファイルまたはフォルダーは移動元には残りません。



左はデータが Music DB.に移動中の画面です。

16-1-4.ファイルのコピー

ファイルやフォルダーを以下の手順でコピーすることができます。



1. コピーしたいフォルダーやファイルにカーソルを合わせてください。
2. MENU ボタンを押して、ポップアップメニューを表示させてください。
3. Copy Files を選択し ok ボタンを押して下さい。
4. 下記の画面が表示されます。



ここから、8-3-2. Music DB に収録されている音楽フォルダーを外部のストレージにエクスポートする方法を参照して下さい。
手順は全く同じです。

16-1-5. ファイルの Move

ファイルやフォルダーを下記の手順で move することができます。



- ① move したいフォルダーやファイルにカーソルを合わせてください。
- ② MENU ボタンを押して、ポップアップメニューを表示させてください。
- ③ Move Files を選択し ok ボタンを押して下さい。
- ④ 下記の画面が表示されます。



ここから、8-8-3-2. Music DB に収録されている音楽フォルダーを外部のストレージにエクスポートする方法(P57)を参照してください。

16-1-6 ファイルの削除

以下の手順でファイルやフォルダーを削除できます。



- ① 削除したいフォルダーやファイルにカーソルを合わせて下さい
- ② MENU ボタンを押して、ポップアップメニューを表示させて下さい。
- ③ Delete Files を選択し ok ボタンを押して下さい。

16-1-7. Internet radio stations 再生のための PLS ・M3U ファイル

X40 でインターネットラジオステーションを再生する場合、PLS または M3U ファイルを作成する必要があります。以下の画像を参照して、X40 の内部ストレージないしは外部の USB ストレージにファイルを (PLS または M3U) 入れて下さい。一度ファイルを作成すればブラウザから再生することができます。



16-1-8. Audio file format conversion



※この機能はブラウザモードでしか機能しません。

1. Music DB 内の音楽データのフォーマット変換をしたい場合は、Export Songs 機能を使用します。
2. 変換したい ファイルやフォルダーにカーソルを合わせてメニューボタンを押してポップアップメニューを表示させて下さい
3. メニュー画面から 'Convert Audio Format' を選択します。
4. M4A、WMA、WAV、MP3、OGG や FLAC などのフォーマットオプションが表示されます。
5. 変換したいフォーマットを一つ選択し ok ボタンを押して変換を開始してください。
6. 選択した形式と同じ名前のフォルダーが一つ自動的に作成されます。
7. 変換したファイルがフォルダーに収納されます。

16-1-9. Cut the recorded file (Cut 'Playing Section')

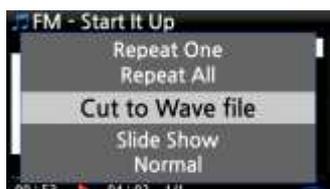
NOTE: このカット機能は、ブラウザモードでのみで動作します



左画面のように iRadio 録音した場合、ブラウザを介して HDD1 の IRadio Recording フォルダの中に録音されたファイルは収納されます。(FM - Start It Up.mp3) それを選択し ok ボタンを押して再生させます。

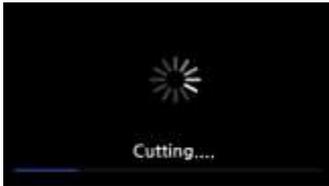


8-3-4. 'セクション再生' 機能の設定 P58 で記述したように 'Playing Section' を設定してください。リピート再生が行われるように 'Playing Section' を設定してください



メニューボタンを押し、ポップアップメニューを表示させます。

Cut to Wave file を選択し OK ボタンを押して下さい。



経過メッセージが表示されます



IRadio Recording フォルダに移動します。

Wave ファイルと同じ名前のファイルがあるのを確認できます。

※Wave ファイルをカットした場合、シリアル番号は、ファイル名の末尾に追加されます。

17.Input

17-1. 接続されている外部機器の使用法

X40 は様々な入力コネクタを持っており、様々な機器との接続が可能です。
(レコードプレーヤー、テーププレーヤー、トランスポーター、DAC 等々)
また、それらのデータをデジタルデータとして録音することができます。



X40 に外部機器を接続してください。

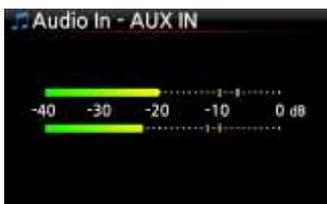
※ NOTE: X40に外部機器を接続する場合は、適切なコネクタに
適切なケーブルを使用して接続して下さい。



Home 画面から Input を選択し ok ボタンを押して
左のような Input 画面を表示させて下さい。

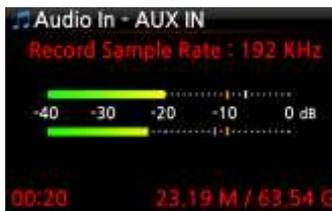
外部機器を再生して下さい。

適切な入力を選択し、ok ボタンを押して下さい。



再生中の画面は左の画面のように表示されます。

17-2..録音の方法



左の画像のように Input 画面で外部機器再生中に録音したい少し前で REC ボタンを押して下さい。
録音を停止する場合は STOP ボタンを押して下さい。

※ NOTE: 上記画面説明

- 1) Record Sample Rate: 192KHz: これは、セットアップ時に録音サンプルレートの設定に応じて決定されます。
- 2) 00 : 20 :録音した時間です。
- 3) 23.19 M / 63.54 G: 今まで録音した累計のファイルサイズ / ストレージのトータル容量

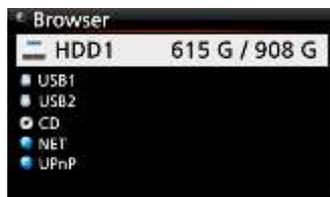
※録音サンプルレートに応じた録音情報

*1) Recording サンプルレート	Recorded File			
	Size/録音時間	サンプルレート	ファイル名の構造	フォーマット
48KHz	691MB/1 時間	48KHz	年+月+日+時間	WAV
96KHz	1,383MB/1 時間	96KHz		
192KHz	2,767MB/1 時間	192KHz		

*1) Recording Sample Rate/セットアップ時に好きなあなたが設定することができます

17-3 録音されたデータの保管場所

録音が始まるとすぐに自動的に録音データが収納されるフォルダーを自動的に作成します



- ① ホーム画面のブラウザアイコンを選択し
ok ボタンを押して下さい。



- ② HDD1 を選択し、ok ボタンを押して下さい

- ③ HDD1 画面から My Recording を選択し
ok ボタンを押して下さい



- ④ My Recording 画面が表示されます。

- ⑤ アナログでは、AUX IN、FMラジオ、TOSLINK、PHONOのように
フォルダーが作成され表示されます。

- ⑥ 適切なフォルダーを選択し、Ok ボタンを押して下さい。



NOTE: フォルダーは録音した入力名に応じて名前が付けられます。

17-4. 録音ファイルデータの編集



編集したい記録ファイルやフォルダーにカーソルを合わせ、MENU ボタンを押してください。
下記のようなポップアップメニューが表示されます。



“TAG Edit”を選択しOkボタンを押して下さい
“TAG Edit”メニューが表示されます。



項目に適切なデータを記入しOkボタンを押して下さい。
項目の同じデータが存在する場合 Music DB や
ストレージへのインポートやエクスポート中に上書き
される恐れがあります。

編集したファイル名は、[アルバム名]+タイトルに変更されます

17-5. 別のフォーマット (MP3, FLAC, Ogg) に変換する方法と そのファイルを Music DB やストレージに移動させる方法

NOTE: 記録されたファイルフォーマットを変換しようとする前に、まず録音したファイルを編集して下さい。



フォーマットを変換したいファイルにカーソルを合わせ
RIP ボタンを押してください。
ポップアップメニューが表示されます。



変換したいフォーマット (MP3、OGG、FLAC、WAV)
を選択し、ok ボタンを押してください。



編集画面が表示されます。

編集する項目が存在しない場合は、Ok ボタンを押して下さい。



ファイルは、Music DB にロードを開始します

ホーム画面上の音楽 DB アイコンに移動し、Album を選択し ok ボタンを押して Album リスト表示させてください。



Test Album（編集段階でも Test Album というタイトルのアルバム）を参照し、左に示すように、変換状態を確認するために INFO ボタンを押して下さい。

18. 特殊機能

18-1 左右ボリューム調整の方法



再生画面で VOL BAL ボタンを押して音量バランスの設定画面を開いて下さい。

音量バランスの設定画面では、矢印ボタンを使用して、左右の音量レベルを調整することができます

設定した後、任意のボタンを押すと、設定は保存されて設定画面から通常画面へ移動します。

18-2. HDMI 映像出力の方法

X40 の操作画面を TV 等の外部の画面に出力したい場合は
X40 と HDMI ケーブルで接続したいモニターを接続し、Screen ボタンを押して下さい。
X40 は自動で再起動し X40 の画面表示は下記のようなカクテルマークと
HDMI OUT が表示されます。



※ NOTE: X40 の操作画面が外部出力されている時は
X40 の画面には操作画面は表示されません。
元の画面に戻したい時は もう一度 Screen ボタンを
押して下さい。
X40 は自動で再起動し 正常に完了すると
元の画面に表示され直します。



18-3. Photo Slide Show



X40 または USB のストレージに写真ファイルを準備して下さい。
音楽再生中に MENU ボタンを押して下記のような
ポップアップメニューを表示してください。



Slide Showを選択し、OKボタンを押して下さい。
写真ファイルを選択するためのガイドが表示されます。
1枚目の写真ファイルを選択し、OKボタンを押して下さい。
スライドショーは、同じフォルダー内の選ばれた
すべての写真ファイルに基づいて開始されます。



※ NOTE: 「Slide show Effect」と「Slide show Time」の設定は SETUP 画面で行えます。

18-4. 様々な項目ごとのリストアップ表示

X40 の画面上でテキストやアルバムカバーアート等の（アルバム、タイトル、ジャンル、アーティスト、などのように）すべての情報事でリストアップ表示をすることができます。TEXT/ ART ボタンを押すことで、下記のような3つの表示モードを簡単に切り替えることができます。

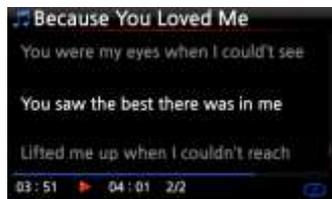


18-5. LYRICS 機能

LYRICS 機能は、音楽再生中の画面上で歌詞を表示するための機能です。曲データが歌詞（.LRC ファイル）ファイル有している場合に限り動作します。



再生画面で、リモコンの LYRICS ボタンを押してください。
歌詞は、以下のように表示されます。
LYRICS ボタンをもう一度押すと再生画面に戻ります。



NOTE 1: LYRICS 機能は、Music DB モードだけではなくブラウザモードでも動作します。

NOTE 2: 画面上の歌詞が文字化けしている場合は、OSD の言語設定と LRC ファイルの言語をチェックする必要があります。

18-6. BOOKMARK

再生中のファイルをブックマークすることができる機能です。

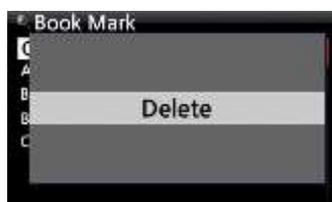
この機能は Audio Books のような長いファイルに使用すると便利です。



再生画面で音楽再生中にブックマークボタンを押します。
ブックマークされたデータは以下の画面のような
Book Mark リストに収納されます



ブックマークされたデータを再生したい場合は
任意の画面で、BOOKMARKボタンを押して下さい。
(再生中画面を除く)。



ブックマークしたデータを削除したい場合、ブックマークの一覧画面で MENU ボタンを押して左の図のようなポップアップメニューを表示させてください。

Delete を選択し、OK ボタンを押して下さい。

18-7. Resume Play

X40 の起動時に前回停止した場所の最後に再生したところの音楽再生を再開する機能です。



左の画像のように On を選択し
Ok ボタンを押して下さい。

※ デフォルト値は Off

【 TIP 】 この機能は” Alarm ” 機能または” Auto Play ” 機能が動作していると動作しません。

※機能優先度 : Alarm 機能 ----> Auto Play 機能 -----> Resume Play 機能

18-8. 時計表示機能 および ディスプレイ (LCD) OFF



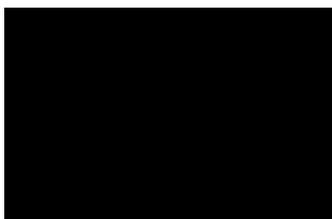
再生中に CLOCK ボタンを押してください。

デジタル時計が表示されます、左画面を参照してください。

もう一度、CLOCK ボタンを押すと LCD 画面オフモードになります。

リモコンのいずれかにボタンを押すと LCD 画面オフモード

を終了し、通常画面が再度表示されます。



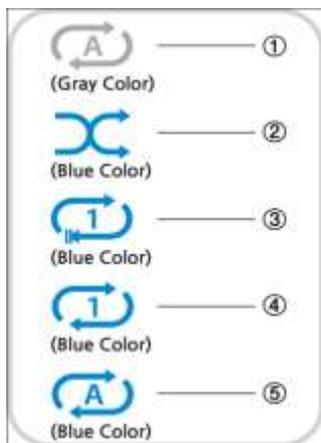
※左図が LCD OFF モードです。

18-9. 再生モードの変更



この機能は、再生画面中にMENUボタンを押して playing mode.を変更することができます。

また、SHUFFLE ボタンを押すと、ポップアップメニューを使用せずに、モードを変更することができます。



- ① Normal: アルバムまたはフォルダー内の全ての音楽を順番に一度ずつ再生します。
- ② Shuffle: アルバムまたはフォルダー内のすべての音楽をランダムに再生します。
- ③ Once: カーソルをあて選択した曲のみ一度再生します。
- ④ Repeat One: 現在再生中の音楽を繰り返します。
- ⑤ Repeat All: アルバム内またはフォルダー内のファイルをその順序通りに全て再生します。

18-10. アラームセットの方法

X40 は 6 つのアラームをセットすることができます。



① Home→Setup→Alarm の順に選択し Ok ボタンを押して Alarm Set 画面に移動してください。

② 下記のような画面が表示されます。



③ 設定したい行を選択し Ok ボタンを押して下さい。

下記のような画面が表示されます。

Note: 設定できる時間は最短でも 現在時刻より 10 分後に設定して下さい。

④ 時間, アラーム回数, 鳴らす音楽ソースをそれぞれ設定して下さい。

⑤ Snooze を On に設定して下さい。

⑥ Ok を選択し、Ok ボタンを押して下さい。

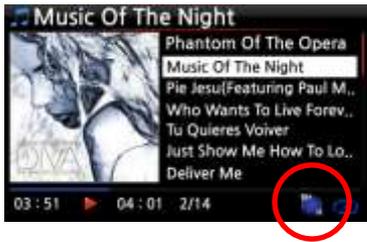


① アップ/ダウンボタンで時間を選択します。

② リpeat回数を選択し、OK ボタンを押して下さい。

③ プレイリストまたは iRadio (お気に入り) からアラーム音源を選択します。

④ スヌーズ ON / OFF で設定の有り無しを選択します。



※NOTE:

A: Alarm

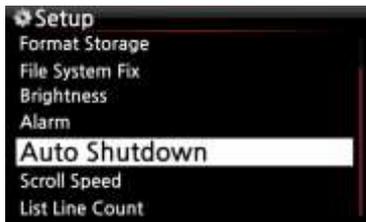
2: Two

D: Day

左のアイコン意味は

” アラームが二日後の今の時間にセットされている” という意味です。

この機能は、X40 が設定された日時に自動的に電源が切れる機能です。



※Note : 詳細な説明については、” 5-7-10. Auto Shutdown” (P41) を参照して下さい。

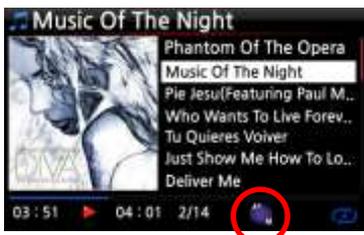
18-12. Sleep mode



任意の画面 (Setup 画面を除く) で SLEEP ボタンを押すと、ボタンを押すごとに、ポップアップメニューの形式で次の設定が表示されます。
(Sleep Off/Sleep10Min/Sleep 20Min/Sleep 30Min/Sleep 1Hour/Sleep 2Hour /Sleep 3Hour)

最後に選ばれたモードが設定さ、設定された時間に合わせて Sleep mode が動作します。

NOTE: セッティング後、下のようなアイコンが表示されます



※NOTE:

S: Sleep

56: Fifty six

M: Day

このアイコンは、後 5 6 分後にスリープモード (電源が切れる状態) に移行することを意味しています。

18-13. Auto Play

この機能は電源を入れると自動的に起動し **Auto Play** フォルダにある音楽データを自動的に再生する機能です。



① Setup→Play List の順に選択し Play List 画面に移動します。

② Auto Play にカーソルを合わせ、MENU ボタンを押して下さい。



③ Add Song を選択して曲を追加し、ok ボタンを押して下さい。

④ Auto Play をしたい曲の上にカーソルを合わせます。カーソルの最後にプラス (+) マークが表示されたら OK ボタンを押して下さい。

⑤ 音楽データの表示が消え、Auto Play に追加されます。

18-14. ショートカット検索

それぞれのリスト画面でリモコンのアルファベットボタンを押すと、各リストモードで押した、アルファベットの文字を先頭に使っているリストの、最初のファイルに移動します。

(詳細は下画面を参照下さい)



18-15. Play 画面中の検索機能

Play 画面中に数字ボタンを押すことで SEEK 機能を起動させることができます。

例えばファイルの再生中に 5 のボタンを押すと、下の画面のように、ファイル全体の再生時間の 50%の位置から再生を開始します。



仕様

型番	CA-X40	
CPU メモリ	Embedded 700MHz MIPS	
	Main Memory (4Gbit, DDR2 800MHz)	
	Firmware Memory (4Gbit)	
CD プレーヤー	Type	Front Loading
	Supported media	CD, CD-DA, CD-R, CD-RW, DVD-R/RW
	Supported audio codec & format	DSD64, DSD128, up to 32Bit/384KHz PCM, DXD 24bit/352.8KHz, APE/CUE, HD FLAC, HD WAV, MP3, FLAC, WAV, WMA,M4A, AAC, ALAC, AIFF, AIF, Ogg Vorbis, PCM, PLS, M3U, etc.
インターフェイス	5" TFT LCD (800x480 pixel) on the front	
	External big screen like TV to be connected through HDMI connector	
	Customized Web Interface (Web UI) for Web Browser like Internet Explorer, FireFox, Chrome, Safari.	
	Free UPnP app available in app store or market for iOS and Android	
アナログ出力	Balanced (Pre-out)	AES/EBU XLR, Dynamic Range:-120dB THD+N (Max 4.5Vrms, Stereo), 127dB DNR
	Unbalanced (Pre-out)	RCA L/R, Dynamic Range: -120dB THD+N (Max 2Vrms, Stereo), 127dB DNR
	Headphone Out	6.35mm jack on the front, 500mW+500mW@1KHz, 32 ohm, 0.1% THD
デジタル出力	Toslink x 1	Sample Rate : up to 24bit/192KHz
	COAXIAL x 1	SPDIF 75ohm RCA, Sample Rate : up to 24bit/192KHz
	AES/EBU XLR x 1	110ohm, Sample Rate : up to 24bit/192KHz
デジタル入力	Toslink x 1	Sample Rate : up to 24bit/192KHz
	COAXIAL x 1	Sample Rate : up to 24bit/192KHz
フォノ入力	MM Input	Sensitivity 12mV
アナログ入力	LINE IN X 1	L & R RCA at the rear, 2V rms
	AUX IN X 1	3.5mm Phone Jack on the front, 800mV rms
チューナー	FM Radio	Tuning Range (FM 87.5 – 90MHz), FM アンテナ入力インプット 75ohm アンバランス

接続	3 x USB Host ports		Front	1x USB Host	
	Network	Wired	Rear	2x USB Host	
	HDMI OUT(video only) x 1		Connecting to external big screen like TV for GUI display and photo slide show		
電源供給	Audio Power Supply		Toroidal Transformer, Power 75E		
	Standby Power Supply		5V/1A SMPS		
対応 ストレージ	Hard disk	2.5" SATA, up to 1TB	Removable storage try (drawer) is provided		
		3.5: SATA, up to 4TB			
	SSD	2.5" SATA, up to 4TB			
	File system	Linux and NTFS			
Removable storage try (drawer) is provided		DSD64 (2.8MHz), DSD128 (5.64MHz), DXD 24Bit/352.8KHz, up to 32Bit/384KHz PCM signal, APE/CUE, MP3, HD WAV, HD FLAC, WAV, WMA, M4A, Apple Lossless, AAC, AIFF, AIF, Ogg Vorbis, PCM, Playlist(PLS, M3U)			
ネットワーク と 言語	Supported Network		UPnP server/client/media renderer, Samba server/client, FTP server, Web server, etc		
	Streaming Playback		Hi-res 24bit/192KHz network streaming playback		
	File management		Copy, delete, rename, importing and exporting between X40 storage and NAS or networked PC		
	Remote control via mobile devices		Control remotely by iPhone, iPad and Android base devices.		
	Cust Web UI omized		Music database of X40 can be controlled and managed by the customized Web UI via IE, Firefox, Chrome and Safari.		
	Internet Service	Internet Radio: Reciva internet radio			
		Online Music Service: Simfy, Qobuz < note * > depends on countries			
サポート 言語	English, German, French, Spanish, Italian, Polish, Czech, Dutch, Traditional Chinese, Russian, Danish, Korean, JAPAN				
電源	AC 110V 50/60Hz				
重量 大きさ	大きさ	脚部なし	435mm(W) x 325mm(D) x 88mm(H)		
		脚部	435mm(W) x 325mm(D) x 98.5mm(H)		
	重量		12kg		

トラブルシューティング

■電源が入らない

1. 電源ケーブルが接続されていないことを確認して下さい。
2. 背面パネルのスイッチが入っていることを確認して下さい。
3. 電源ケーブルが壁のソケットにしっかりと挿入されていることを確認して下さい。

■X40がリモコンに反応しない

1. リモコンの電池を確認して下さい。
2. その他のリモコンの干渉を確認して下さい。
3. リモコンとX40の距離を近づけて下さい。

■X40がPC上のネットワーク共有フォルダーに表示されない

1. X40とPC間のネットワーク接続状態を確認してください。
2. ネットワーク環境に応じて、ネットワークに接続する際に時間遅延があるかもしれません。
3. X40を再起動してみて、再度ネットワークの設定を構成し直して下さい。

■X40がディスクを読み取ることができない

1. 逆さまにディスクが挿入されていないかどうか、確認して下さい。
2. ディスクに傷や汚れがないかを確認して下さい。

■ディスクが音飛びする

1. ディスクに傷や汚れがないか、確認して下さい。
2. X40が水平に設置されていることを確認し、振動の影響を受けないことを確認して下さい。

■スピーカーからのハムが出る

すべてのケーブルが確実に接続されていることを確認して下さい。